

45年で日本人はどう変わったか（1）

～第10回「日本人の意識」調査から～

世論調査部 荒牧 央

NHKは1973年から5年ごとに「日本人の意識」調査を行い、同じ質問・同じ方法で調査を繰り返すことによって、社会や経済、政治、生活など、人びとの幅広い意識を長期的に追跡している。その最新の調査結果から、結婚観、婚前交渉、女性の職業、女の子の教育など、家庭・男女関係についての結果を紹介する。

家庭・男女関係は、「日本人の意識」調査の中で最も変化の大きい領域である。1973年からの45年間で、子どもが生まれても女性が職業をもち続けたほうがよいという人は20%から60%に増加し、女の子に大学までの教育を受けさせたいと考える人は22%から61%に増加した。また、必ずしも結婚する必要はないと考える人は、最近の25年間で51%から68%に増加した。その変化の特徴として以下のようなことがあげられる。①全体として、男女の平等や個人の自由を認める方向へ意識が変化している、②増えるものは増え続け、減るものは減り続けるというように、同じ方向に変化している項目が多い、③世代交代によって変化している質問もあれば、時代の影響を大きく受けている質問もある。

家庭・男女関係についての考え方は45年間で大きく変わったが、2000年ごろからは変化が小さくなった質問もみられる。

はじめに

NHKは、日本人のものの見方や考え方を広い範囲にわたって長期的に追跡するため、1973年から5年ごとに「日本人の意識」調査を行っている。2018年6月から7月にかけて第10回の調査を実施し、それによって昭和から平成の終わりまで、45年間にわたる意識の変化をたどることが可能になった。その結果を2回に分けて報告する。結論からいえば、調査開始以降の45年で人びとの意識は大きく変化している。

1回目は、男女関係、家庭像、夫婦・親子関係について、来月号の2回目は政治、ナショナリズム、日常生活、基本的価値観などについて報告する。

1. 調査の基本設計

1.1 目的と内容

「日本人の意識」調査の目的は、5年ごとに同じ質問・同じ方法で世論調査を実施することにより、社会や生活についての日本人の基本的な価値観や意見の変化を長期的にとらえることである。具体的な質問項目については、次のような5つの基準に沿って選定している。

- ① 主要な意識の領域をカバーすること
 - ② 意識の特性を構造的にとらえ得ること
 - ③ 長期的な変動が見込まれる意識であること
 - ④ 社会的影響力の大きい意識であること
 - ⑤ 統計調査法により測定可能であること
- 最終的には以下の7つの質問領域と質問項目

群が設定されている。また個々の質問は、具体的な状況設定をしたものにする事や、長期的な時系列調査に耐えるものにする事も考慮されている。

(1) 基本的価値

- 生活目標
- 生活充実手段
- 権威-平等
- 能率-情緒
- 理想の人間像

(2) 経済・社会・文化

- 消費・貯蓄
- 人間関係(血縁, 地縁, 職場, 友人*)
- 理想の仕事
- 仕事と余暇
- 余暇(現状, 将来)
- 信仰・宗教

(3) 家庭・男女関係

- 理想の家庭
- 夫婦関係, 父子関係
- 老後のあり方
- 男女の教育
- 性意識
- 結婚観*

(4) コミュニケーション

- 欠かせないコミュニケーション行動*

(5) 政治

- 知識
- 有効性感覚(選挙, デモなど, 世論)
- 結社・闘争性(職場, 地域, 政治)
- 政治活動
- 政党支持
- 政治課題
- 天皇に対する感情
- ナショナリズム(日本や日本人について

の愛着心, 優越感)

(6) 国際関係*

- 好きな外国とその理由
- 外国人との接触経験
- 外国との交流

(7) 属性ほか

- 生活満足度
- ライフステージ
- 学歴
- 職業
- フィールド状況(面接時間)

質問領域・項目のうち, *のついたものは第3回以降に, 以下のように追加されたものである¹⁾。

人間関係(友人): 第7回から
(第8回からは質問・選択肢を変更)

結婚観: 第5回から

欠かせないコミュニケーション行動:
第3回から(第7回からは選択肢を追加)

国際関係: 第5回から
(外国との交流は第7回から)

全体の質問数は, 第1・2回が66問, 第3・4回が60問, 第5・6回が68問, 第7回以降が69問となっている。第1回から第10回まで継続して聞いている質問は54問である。

実際に使用した質問文と選択肢, および各回の概要, 単純集計結果, サンプル構成は18~37ページに掲載した。

1.2 方法の固定化

時系列調査では結果の比較のため, 調査の条件をできるだけ一定に保つ必要がある。そこで「日本人の意識」調査では第1回の調査にあたり, 以下の基本方針と実施のための留意点を策定し, 今日まで引き継いでいる。

(1) 基本方針

日本人の意識の変化を長期的に追跡するため、調査実施の諸条件を最大限に均一化したうえで、5年に1回の調査を行う。

(2) 実施のための留意点

- ① サンプル：調査のつど新たに16歳以上の国民5,400人(12人×450地点、層化無作為2段)を抽出する
- ② 調査時期：5～7月に実施する(ただし、3・5・6・9回調査は7月に国政選挙が行われたため、9月ないし10月へ変更)
- ③ 調査員指示：説明会などを通じた調査員への指示を同じものにする
- ④ 調査材料：調査票、回答項目リスト、調査協力依頼状、調査実施細目(マニュアル)の内容も重大な支障がない限り変更しない
- ⑤ 調査方法：個人面接法で行う
- ⑥ その他：〈a〉以上の条件の徹底をはかるため、NHKの全国組織によって調査を実施する、〈b〉受付、点検、集計時における回答エラー補正の方法を変更しない、〈c〉調査不能理由などの調査の実施状況を記録し、各回の結果を比較する際の参考とする

このように、調査の諸条件をできる限り均一化することによって、得られたデータの変化が、実施面での条件が変わったことによるものではなく、調査対象の回答が変わったことによるものと判断して分析できることになる。

ただし今回(第10回)の調査では、調査環境の変化などによりやむを得ず以下の点を変更した。

- ・指定サンプルのサイズは5,400人のままで、地点数を360地点、1地点あたりの調査相手数を15人(15人×360地点)とした。
- ・調査の実施は、世論調査を専門とする調査

機関に委託した。なお、実施体制の変更にあたっては、調査機関が変わったことによる結果の違いをできるだけ小さくできるように検討を重ねた²⁾。

1.3 意識変化の要因

本報告でいう「日本人の意識」とは、厳密に言えば、科学的な世論調査の結果から推定した「16歳以上の日本国民におけるさまざまな意見・考え方・態度の分布状況」ということになる。つまり国民全体(または「男性」や「若年層」などの集団)の中でAの意見の人がどのくらい、Bの意見の人がどのくらい…ということを示すものである。分布状況は個人個人の意見の集積であるが、時系列の変化をみる場合、個々人の意見が変わっても全体の分布が変わらないこともあれば、反対に、個々人が意見を変えなくても全体の分布が変わることもある。

- ① 個々人は意見を変えても、国民全体での分布が変わらない典型：個々人は年齢を重ねること(加齢)によって意見を変えても、各年齢の構成比が同じであれば、国民全体での意見分布は変わらない
 - ② 個々人は意見を変えなくても、国民全体での分布が変わる典型：若い世代ほど支持する人が多いなど、世代間で差があれば、個々人は意見を変えなくても、世代交代により国民全体での意見分布は変化する
 - ③ 個々人が意見を変え、国民全体の意見も変わる典型：加齢やライフステージの変化だけでなく、時代の動きによっても個々人の意見が変わることがある。この場合、個々人の意見が同じ方向に変われば、国民全体の意見分布も変わる
- 実際には、これらの現象は複雑にからみ合っ

ているが、加齢と世代交代は時の経過とともに必然的に生じる現象である。そのため、分析する際の基本は、加齢によるものなのか、それとも世代交代によるものなのかをまず確認し、次に時代状況の変化の影響があるのかないのかをみていくことになる。

さらに、この45年の間には日本人の年齢構成も大きく変化している。国勢調査の結果をみると、16～19歳や20代は半減し、代わって60代や70歳以上が大きく増えた。現在では50代以上の占める割合は半数を超えている(図1)。その結果、年齢を重ねることによって変わるような意見で、かつ、高年齢層に支持される意見は、国民全体での割合は高くなり、反対に高年齢層で支持する人が少ない意見の割合は低くなる。

また、1970年以降の主なできごとを、国内を中心に表1に示した。第1回の調査を行った1973年6月は、まだ高度経済成長の末期で、その年の秋にオイルショックが起きている。その後は安定成長の時代からバブル景気を経て、バブル崩壊後は「失われた20年」と言われる低

図1 年齢別構成比の推移(日本人)

	16～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1970年	10%	26	21	17	12	9	6
1975年	8	24	21	19	13	9	7
1980年	7	19	23	19	15	10	8
1985年	8	17	21	19	16	10	9
1990年	8	17	17	20	16	12	10
1995年	7	18	15	19	16	13	11
2000年	6	17	16	16	18	14	14
2005年	5	14	17	15	18	15	17
2010年	4	12	16	15	15	17	20
2015年	4	11	14	17	14	17	22

(国勢調査から)

表1 1970年以降の主なできごと

年	主なできごと	
1970年	大阪万博	
1971年	ドルショック	
1972年	あさま山荘事件 沖縄返還 日本列島改造論	第1回調査
1973年	第1次オイルショック	
1974年	狂乱物価 戦後初のマイナス成長	
1975年	国際婦人年	
1976年	ロッキード事件発覚 戦後生まれ過半数に	
1978年	成田空港開港	第2回調査
1979年	第2次オイルショック ジャパンアズナンバーワン	
1980年	衆参同日選挙自民大勝 自動車生産台数世界第1位	
1982年	海外旅行ブーム	
1983年	「ロンヤス」会談、運命共同体	第3回調査
1985年	靖国神社参拝問題	
1986年	男女雇用機会均等法施行	
1988年	リクルート事件	第4回調査
1989年	昭和天皇崩御 消費税実施 ベルリンの壁崩壊	
1991年	湾岸戦争 ソ連崩壊	
1993年	皇太子ご成婚 55年体制の崩壊、非自民政権	第5回調査
1994年	自社さ連立政権	
1995年	阪神・淡路大震災 オウム真理教(地下鉄サリン)事件	
1997年	神戸連続児童殺傷事件 長野冬季オリンピック 金融破綻、銀行・企業倒産	第6回調査
1999年	大手銀行に公的資金投入	
2000年	介護保険制度開始	
2001年	米国同時多発テロ事件 貸し剥がし問題	
2002年	北朝鮮拉致被害者5人帰国	
2003年	イラク戦争 個人情報保護法成立	第7回調査
2004年	平成の大合併 振り込め詐欺問題	
2005年	人口初の自然減、出生率1.26	
2006年	教育基本法改正 年金記録漏れ問題	
2007年	米サブプライムローン問題 郵政民営化	
2008年	世界同時株安	第8回調査
2009年	リーマンショック 民主党圧勝、政権交代	
2010年	尖閣諸島問題	
2011年	東日本大震災 福島第一原発事故	
2012年	自民党圧勝、政権交代	
2013年	アベノミクス 国の借金1,000兆円突破	第9回調査
2014年	消費税8%スタート	
2015年	安全保障関連法成立	
2016年	18歳選挙権施行	
2017年	トランプ米大統領就任 天皇退位特例法成立 森友・加計問題	
2018年	働き方改革関連法成立 西日本豪雨、死者200人超	第10回調査

迷期に入る。経済面以外でも、政治、社会など表1に掲載したようなさまざまな事象が人びとの意見形成に影響を及ぼしてきたと考えられる。

2. 家庭・男女関係についての意識

前節でみたように、「日本人の意識」の調査票は幅広い領域の意見や態度を対象としている。その中で家庭や男女に関する意識は最も変化の大きい領域である。まず、結婚観など男女関係についての質問をみていく。

2.1 結婚観

「必ずしもする必要はない」が7割近くに

「日本人の意識」では1993年の第5回調査から、結婚観を聞く質問を設け、結婚について次のどちらの考えに近いかを尋ねている。

甲：人は結婚するのが当たり前だ《するのが当然》

乙：必ずしも結婚する必要はない《しなくてよい》

《 》は選択肢の略称で、調査相手が見る回答項目リストには表示していない。以下同様）

結果をみると、結婚することについて「必ずしもする必要はない」と考える人は、質問を始めた93年には51%と半数程度だったが、長期的に増加する傾向にある。最近の5年間でも前回の63%から増加し、68%となった(図2)。「結婚するのが当たり前だ」と考える人は現在27%で、93年の45%から減少傾向にある。

子どもを「もたなくてもよい」も増加

同じく93年から、子どもをもつことについての質問も設け、どちらの考えに近いかを尋ねている。

図2 結婚すること

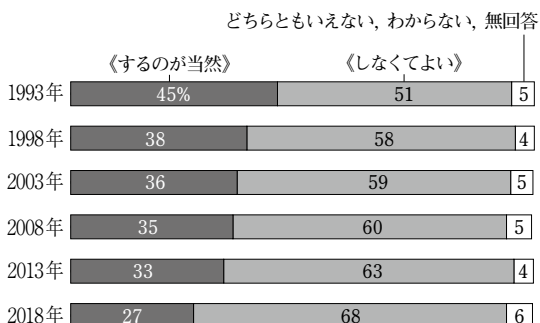
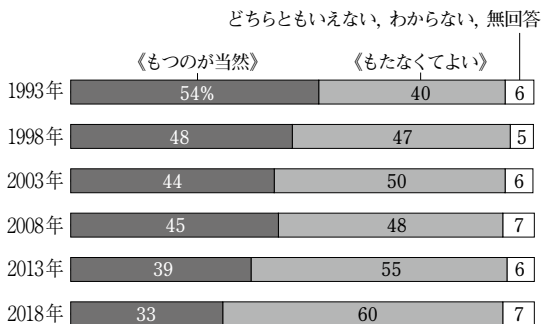


図3 子どもをもつこと



甲：結婚しても、必ずしも子どもをもたなくてよい《もたなくてよい》

乙：結婚したら、子どもをもつのが当たり前だ《もつのが当然》

「結婚しても、必ずしも子どもをもたなくてよい」と考える人は、93年には40%で、「子どもをもつのが当たり前だ」と考える人(54%)のほうが多かった。しかし、2003年からは「必ずしも子どもをもたなくてよい」が上回るようになり、今回もさらに増加して60%になった(図3)。現在では結婚を「必ずしもする必要はない」、子どもを「必ずしももたなくてよい」という考えがどちらも多数派になっている。

図4は結婚を《しなくてよい》という人の割合を、回答者の生まれ年を基準にみた結果である。図の左端のほうは「1999～2002年生まれ」や「1994～98年生まれ」などの、最近

調査対象に加わった新しい世代であり、右へ行くにしたがって高年世代になる。右端近くは1910年代や1920年代に生まれた古い世代である。また、グラフのそれぞれの線は調査各回の結果を示している。ここからは次のようなことが読み取れる。

- ① 《しなくてよい》という人は高年世代ほど少なく、新しく調査対象になった世代ほど多い。戦前～戦中の「1939～43年」やそれより前に生まれた世代では、《しなくてよい》が50%を超えることがないのに対して、70年代以降に生まれた世代では、《しなくてよい》が80%前後であることが多い。
- ② 各回の線はほぼ重なっている。つまり時代（調査の時期）が変わっても、生まれ育った

時期が同じ世代では《しなくてよい》の割合にはあまり変化がない。

たとえば「1944～48年生まれ」の人では、93年から5年ごとに52→57→52→53→54→56(%)となっており、同様に「1949～53年生まれ」では、63→67→57→57→62→63(%)と推移している。

このことから、人は結婚について若いころのある時期にもった考えを、その後も変えずにもち続けると考えられる。したがって、国民全体で《しなくてよい》という人が増えてきたのは、この考えを支持する人が少ない高年世代が去り、支持する人が多い若い世代が新たに加わるという、世代交代によるところが大きい。

子どもを《もたなくてよい》という人の割合に

図4 結婚すること《しなくてよい》〈生年別〉

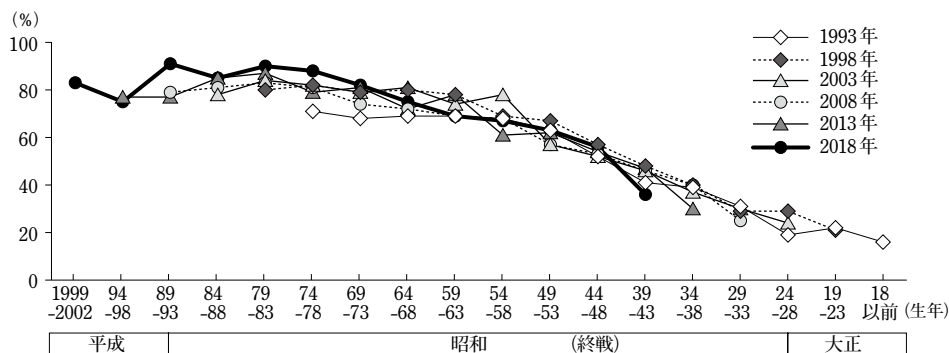
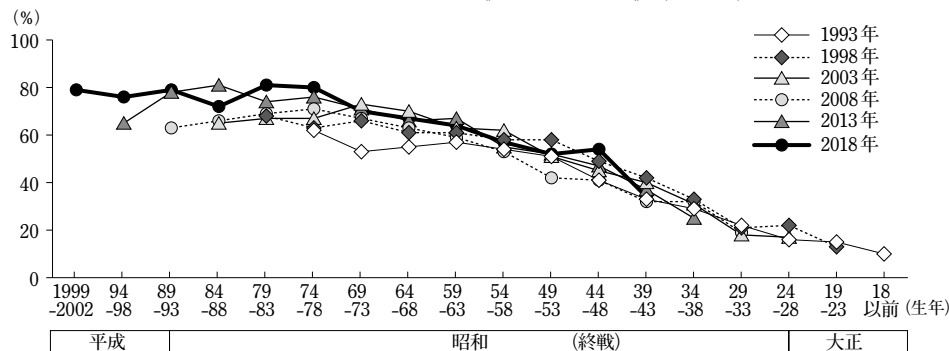


図5 子どもをもつこと《もたなくてよい》〈生年別〉



についても同様のことがいえ、高年世代ほど少なく、新しい世代ほど多い傾向がある(図5)。「結婚すること」についても「子どもをもつこと」についても、国民全体でみた場合は93年からの25年間で大きな変化があるが、生まれ育った時期、すなわち世代ごとにみた場合には意見はあまり変化していない。

結婚を望まない人は増えていない

結婚をしない人は実際にも増加しており、生涯未婚率(50歳時の未婚の割合)は1970年には男性1.7%、女性3.3%だったが、2015年には男性23.4%、女性14.1%に上昇している。また、未婚化、晩婚化の流れが今後も変わらなければ、2040年には男性29.5%、女性18.7%まで上昇すると推計されている³⁾。

しかし、自分自身が結婚したくないと考える人は決して多くはない。NHKが2013年に行った調査⁴⁾では、16歳以上の未婚者(547人)のうち「結婚したくない」という人は9%にすぎない。「必ずしも結婚する必要はない」と考える人(397人)だけに限ってみた場合でも、「結婚したくない」は10%で、未婚者全体での割合と変わらない。一般論としては結婚しなくてもよいと考える人が増える一方で、自分についてはほとんどの人が結婚したいという気持ちをもっている。

国立社会保障・人口問題研究所の調査でも、18～34歳の未婚者で「一生結婚するつもりはない」という人が微増傾向にあるものの、「いずれ結婚するつもり」という人は男性で86%、女性で89%と、依然として高い水準にある⁵⁾。この調査では独身生活の利点や結婚するのに障害になることについても聞いているが、独身生活の利点としては「行動や生き方が自由」、結婚

の障害としては「結婚資金」をあげる人が最も多い。こうしたことも、必ずしも結婚しなくてよいという意識につながっているのかもしれない。

2.2 婚前交渉

最近の20年はゆるやかな変化

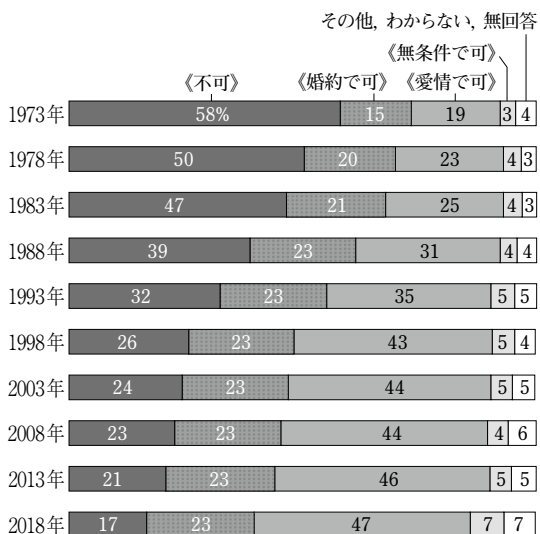
結婚していない若い男女の性交渉については、開放的な意見が大きく増えたが、最近の20年間は小さな変化にとどまっている。

調査では次の4つの中から、考えに近いものを1つ選んでもらっている。

1. 結婚式がすむまでは、性的まじわりをすべきでない《不可》
2. 結婚の約束をした間柄なら、性的まじわりがあってもよい《婚約で可》
3. 深く愛し合っている男女なら、性的まじわりがあってもよい《愛情で可》
4. 性的まじわりをもつのに、結婚とか愛とかは関係ない《無条件で可》

98年までは、「結婚式がすむまでは、性的まじわりをすべきでない《不可》」という人が減り

図6 婚前交渉について



続け、「深く愛し合っている男女なら、性的まじわりがあってもよい《愛情で可》」という人が増え続け、93年には《愛情で可》が最も多くなった(図6)。98年以降も《愛情で可》がやや増え、《不可》は減っているが、98年までに比べると変化がゆるやかになっている。なお、45年前と比較すると、《不可》は過半数の58%から17%へと41ポイントも減少した。これは、「日本人の意識」調査のすべての選択肢の中で最大の変化である。

図7は《不可》について、男性の生年別の結果を示したもので、みやすくするため5年ごとではなく10年ごとの結果を表示した。これを見ると、図4や図5とは逆に右上がりの形となっており、明治や大正に生まれた人では《不可》を支持する人が多く、若い世代ほど支持する人が

少ない。そのため、時代が移ると、世代交代によって男性全体では《不可》を支持する人が少なくなる。ただし、2003年の調査あたりになると、高年世代と若い世代との差が小さくなり、世代交代による《不可》の減少も小さくなった。

《不可》以外の《愛情で可》や《婚約で可》《無条件で可》も、基本的には同じように生まれ育った時期、つまり世代によって支持する人の割合がほぼ決まっている。婚前交渉に関する考えは、生まれ育った時代ごとにみるとあまり変化がなく、いったん意見が固まるとその後も変わらないと考えられる。

女性の結果も男性とほぼ同じ傾向を示しているが、73年から93年までは、グラフの線が全体的に少しずつ下にずれている(男性でも多少その傾向がみられる)(図8)。つまり、この

図7 婚前交渉について《不可》〈男性生年別〉

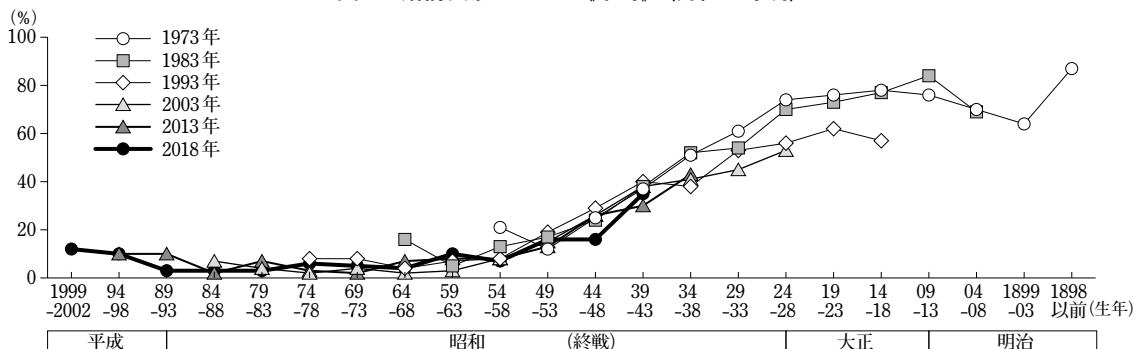
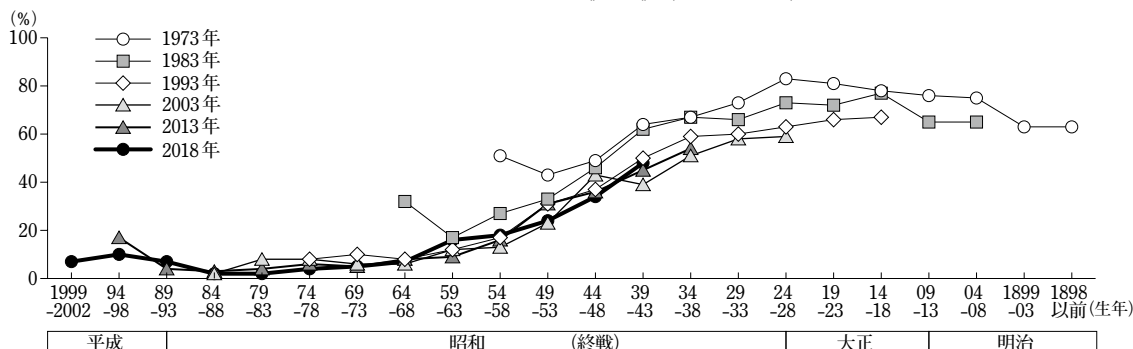


図8 婚前交渉について《不可》〈女性生年別〉



時期は世代交代によって《不可》が減ったことに加え、時代が進むにつれて《不可》と考える人が全体的に少しずつ減ったことを示しており、《不可》の減り方は男性より女性のほうが大きくなっている。

2.3 夫婦の姓

「どちらが改めてもよい」が最多に

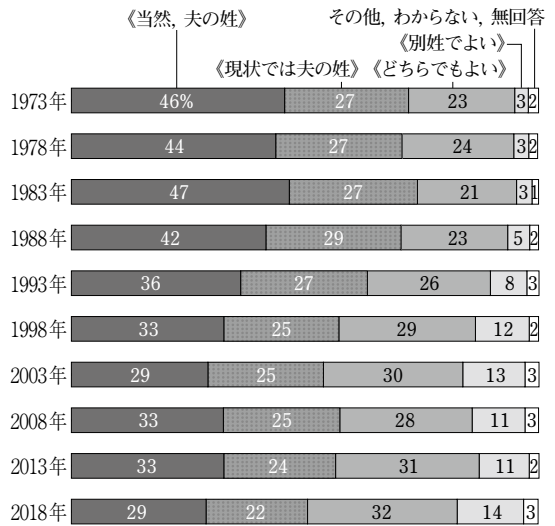
結婚した男女が名字をどうしたらよいか、次の中から1つを選んでもらっている。

1. 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のべきだ《当然、夫の姓》
2. 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい《現状では夫の姓》
3. 夫婦は同じ名字を名のべきだが、どちらが名字を改めてもよい《どちらでもよい》
4. わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままでよい《別姓でよい》

73年から83年までの10年間はあまり変化がなく、《当然、夫の姓》という人が半数近くいた。その後は《当然、夫の姓》と《現状では夫の姓》が減り、《どちらでもよい》と《別姓でよい》が増えた。しかし03年以降はどの意見にも大きな変化はなく、変化の方向も一定していない(図9)。

現在は《どちらでもよい》が32%で、4つの選択肢の中で最も多くなっている。ただし過半数が支持するような意見はなく、国民の意見は分かれている。最近の5年間では、《別姓でよい》という人も11%から14%に増加した。2015年には夫婦は同姓とする民法の規定について最高裁判断が出され(合憲の判断)、ニュースなどでも大きく取り上げられたが、そうした動きが結果に影響した可能性もある。

図9 夫婦の姓

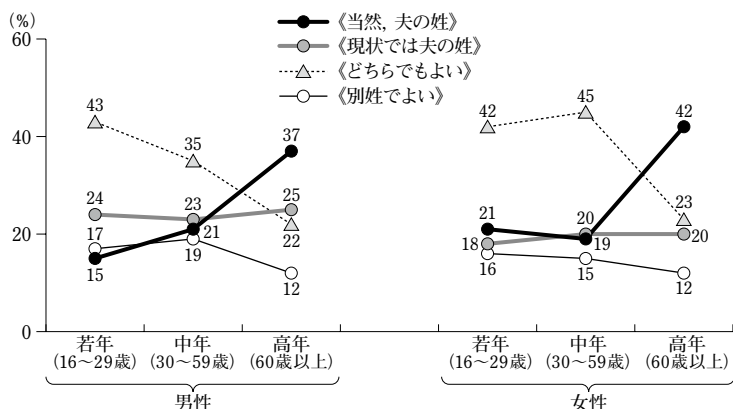


最新の結果について男女別にみると、《現状では夫の姓》は男性24%、女性20%で男性のほうが多く、反対に《どちらでもよい》は男性29%、女性35%で女性のほうが多い。《当然、夫の姓》と《別姓でよい》は男女同程度である。

男女年層別にみると、男女とも60歳以上の高年層では《当然、夫の姓》という人が最も多く、若年層(16~29歳)と中年層(30~59歳)は《どちらでもよい》が最も多い。ただし《どちらでもよい》は男性中年層で35%、女性中年層で45%と、中年層では男性より女性のほうが多くなっている(図10)。《現状では夫の姓》と《別姓でよい》は年層によって大きな違いはないが、《現状では夫の姓》は男性高年層で、《別姓でよい》は男性中年層でやや多い。

なお《別姓でよい》は4つの選択肢の中では最も少ないが、希望する人が別姓を選択することに対しては反対が多いわけではない。NHKが2018年9月に実施した調査⁶⁾では、次のような質問をしている。「法律を改正して、夫婦の名字を別々にできるようにすべきだ、という意

図10 夫婦の姓(2018年)〈男女年層別〉



見があります。あなたは、夫婦が同じ名字でも、別々の名字でも、自由に選べるようにすることに、賛成ですか。それとも、反対ですか。結果は賛成が67%、反対が32%で、賛成のほうがかなり多い。年層別にみると、70歳以上では賛否が同程度だが、それ以外の年層はいずれも賛成が反対を上回っている。

2.4 理想の家庭

「家庭内協力」が最多で変わらず

ここからは、家庭に関する質問の結果をみていく。まず、人びとが理想とする家庭像について、調査では4つの家庭の中から好ましいと思うものをあげてもらっている。

1. 父親は一家の主人としての威厳をもち、母親は父親をもちたてて、心から尽くしている《夫唱婦随》
2. 父親も母親も、自分の仕事や趣味をもちいて、それぞれ熱心に打ち込んでいる《夫婦自立》
3. 父親は仕事に力を注ぎ、母親は任された家庭をしっかりと守っている《性役割分担》
4. 父親はなにかと家庭のことにも気をつかい、母親も暖かい家庭づくりに専念している《家

庭内協力》

78年までは、父親は仕事、母親は家庭という《性役割分担》が望ましいという人が4割近くで最も多かった(図11)。しかし80年代から2000年代前半にかけて減少し、現在は15%しかない。《夫唱婦随》がよいという人も73年の22%から8%に減って、4つの中で最も少なくなった。

《家庭内協力》が望ましいという人は80年代から90年代にかけて大きく増え、88年以降は4つの中で最も多くなっている。2000年代に入ってから、割合はほとんど変化していないものの、現在ではほぼ半数の人が支持している。年層別にみた場合でも、08年以降はすべての層で《家庭内協力》が最も多い。

《夫婦自立》が望ましいという人は、73年には15%で最も少なかったが、現在は27%になり、《家庭内協力》に次いで多くなっている。

図11 理想の家庭

年	《夫唱婦随》				その他、わからない、無回答
	《夫唱婦随》	《夫婦自立》	《性役割分担》	《家庭内協力》	
1973年	22%	15	39	21	3
1978年	21	16	38	23	3
1983年	23	16	29	29	3
1988年	20	18	25	35	3
1993年	17	19	20	41	3
1998年	13	23	17	45	3
2003年	13	23	15	46	3
2008年	13	20	16	48	4
2013年	10	24	15	48	3
2018年	8	27	15	48	3

2.5 家庭と女性の職業

「職業をもち続けたほうがよい」が6割に

結婚した女性が職業をもち続けるべきかどうかについて、次の中から1つを選んでもらっている。

1. 結婚したら、家庭を守ることに専念したほうがよい《家庭専念》
2. 結婚しても子どもができるまでは、職業をもっていたほうがよい《育児優先》
3. 結婚して子どもが生まれても、できるだけ職業をもち続けたほうがよい《両立》

73年に最も多かったのは《育児優先》の42%、次いで《家庭専念》の35%で、《両立》がよいという人は20%しかいなかった。当時は結婚か出産を機に、仕事を辞めて家庭に入るべきだ、というのが大多数の考えだった。しかしその後《両立》が増え続け、98年には46%で《育児優先》を上回り、3つの中で最も多くなった。現在は60%の人がこの考えを支持している(図12)。《両立》が望ましいという人は、45年間で40ポイントも増えたが、これは、婚前交渉は《不可》という人が41ポイント減ったことに次ぐ大きな変化である。

《両立》が望ましいという人は、男性では16%から56%に、女性では24%から63%になり、男女とも45年間で大きく増加している。男性も女性も同じような動きで増加を続けているが、男性と女性を比べると、いつの時代も男性は女性より10ポイント前後低い(図13)。

《両立》がよいという人を年層別にみると、すべての層で45年間に大きく増加した(図14)。18年の結果では、少ない層でも半数程度あり、30代後半

図12 家庭と女性の職業

年	《家庭専念》		その他、わからない、無回答		3
	《育児優先》	《両立》	《育児優先》	《両立》	
1973年	35%	20	42	20	3
1978年	30	27	41	27	2
1983年	29	29	40	29	2
1988年	24	33	39	33	3
1993年	18	37	41	37	4
1998年	13	46	38	46	3
2003年	13	49	35	49	4
2008年	12	48	37	48	3
2013年	11	56	31	56	2
2018年	8	60	29	60	3

と40代前半では70%台と特に多くなっている。

18歳未満の子どもがいる母親の就業率は上昇傾向にあり、2017年は71%と7割に達した。子どもが0歳の場合でも42%、1歳の場合では54%の母親が「仕事あり」となっている(育児休業中の人を含む)⁷⁾。就業率の上昇には、女性の職業に対する人びとの意識の変化も影響していると思われる。

図13 家庭と女性の職業《両立》〈男女別〉

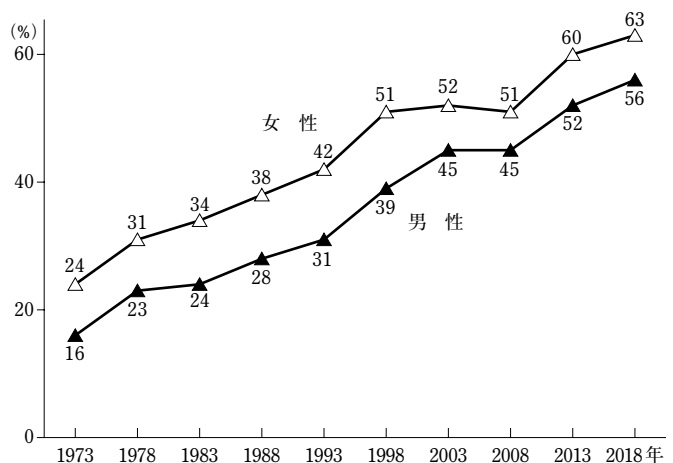
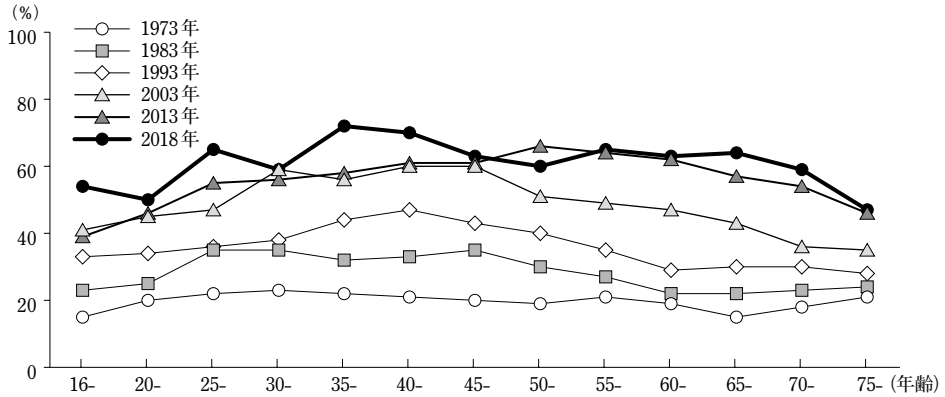


図 14 家庭と女性の職業《両立》〈年層別〉



2.6 夫の家事・育児 「手伝いは当然」が9割

次に、夫が家事や子どもの世話をすることについて、2つの意見を示し、どちらに賛成するかを尋ねている。

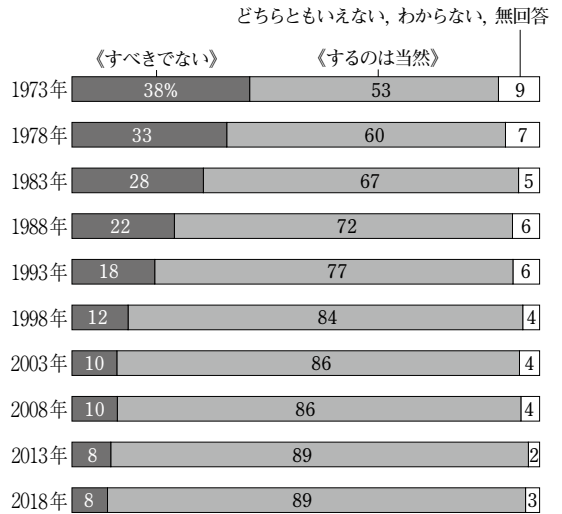
甲：台所の手伝いや子どものおもりは、一家の主人である男子のすることではない《すべきでない》

乙：夫婦は互いにたすけ合うべきものだから、夫が台所の手伝いや子どものおもりをするのは当然だ《するのは当然》

《するのは当然》という人は、73年の時点ですでに過半数の53%だったが、90年代までにさらに大きく増加し、大多数の人が夫が台所の手伝いや子どものおもりをするのは当然と考えるようになった(図15)。年層別にみても、18年は70歳未満のすべての層で《するのは当然》が90%以上となっている。70歳以上でも80%前後はあり、《するのは当然》の考えは年層にかかわらず圧倒的に支持されている。

それでは、夫が実際にどの程度家事をしているのか、NHK国民生活時間調査のデータをみると、男女の家事時間にはかなりの差があるこ

図 15 夫の家事の手伝い



とがわかる。同調査の2015年の結果によると、20歳以上の女性が平日に家事⁸⁾をする時間は4時間18分であるのに対し、男性では54分と大きな開きがある(図16)。男性の家事時間は長期的に増加しており、男女差は少しずつ縮小する傾向にあるが、依然として男女の家事時間の差は大きい。これは土曜や日曜についても同じで、平日、土曜、日曜とも男女で3時間以上の差がある⁹⁾。

図16 家事時間(平日)〈20歳以上, 男女別〉

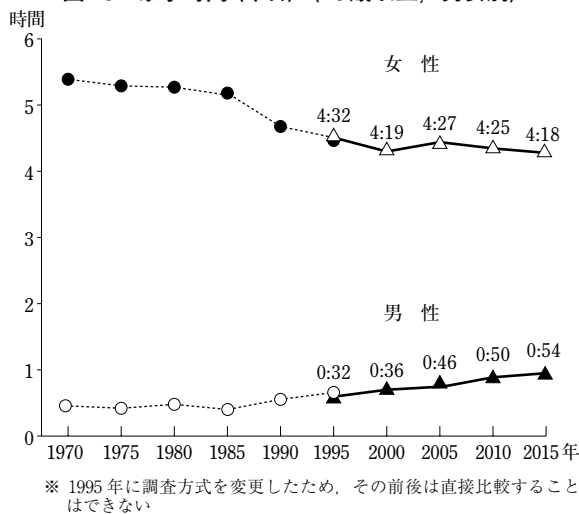


図17 男子の教育

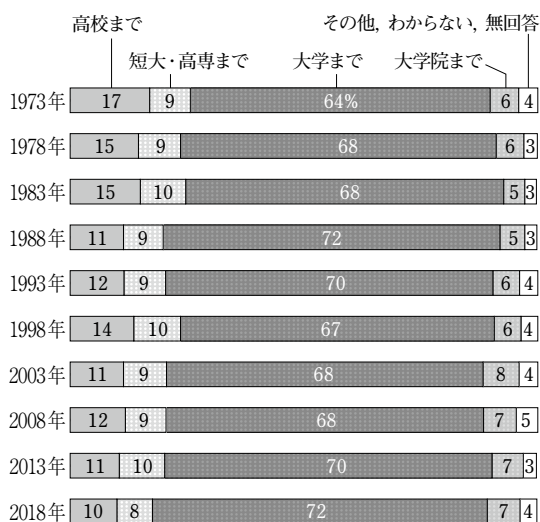
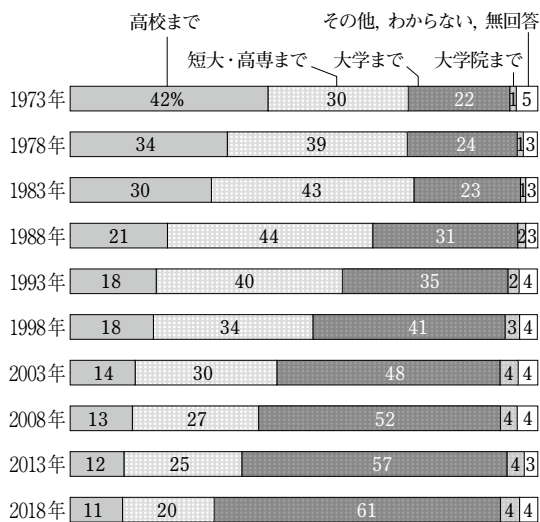


図18 女子の教育



意識の上では、夫が家事や育児の手伝いをするのは当然だとほとんどの人が考えているが、実際の家事時間をみると男性の家事が“手伝い”程度にとどまっているというのが現状で、意識と現実には大きな乖離がある。

2.7 子どもの教育

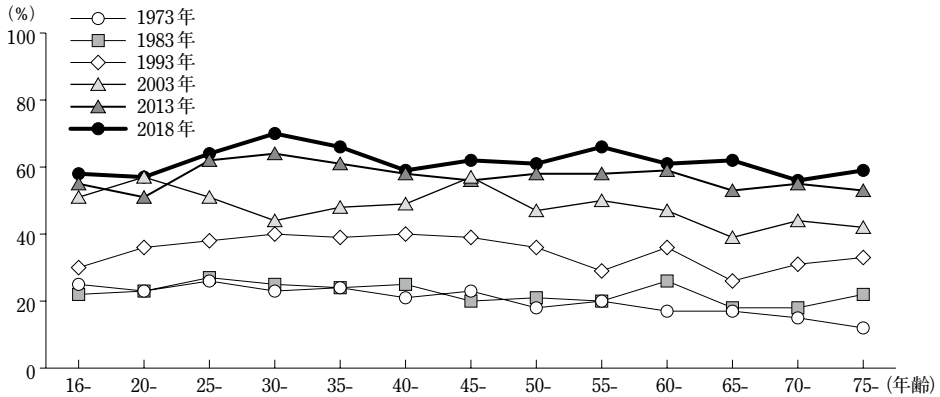
女の子も「大学まで」がさらに増加

もし自分に中学生の子供がいたとして、どこまで教育を受けさせたいかを、男の子の場合、女の子の場合、それぞれについて尋ねた。男の子の場合、73年の時点で64%が「大学まで」と考えている。現在は72%で、45年間で少し増えているが、78年以降はおおむね70%前後でさほど変化していない(図17)。

女の子の場合、73年には「高校まで」が42%で最も多く、次いで「短大・高専まで」が30%で、「大学まで」は22%にすぎなかった。しかし、男女雇用機会均等法施行後の88年からは「大学まで」が毎回増加し、今回は61%となった。男の子の場合の72%とはまだ差があるが、45年間で大きく増加した(図18)。

女の子で「大学まで」という回答の割合を年齢層別にみると、どの回も年齢によってそれほど大きな差はなく、時代が進むにしたがってグラフの線が上のほうへ移動している(図19)。その結果、73年には30%を超える層はなかったが、18年の結果ではすべての層で半数を超えている。つまりどの層でも「大学まで」という人が大幅に増加しており、時代による影響が大き

図19 女子の教育「大学まで」〈年層別〉



いことがわかる。

この2つの質問で、男の子のほうにより高い教育を受けさせたいと考える人を「男子優先」、男の子と女の子に同じ程度の教育を受けさせたいと考える人を「男女平等」、女の子のほうにより高い教育を受けさせたいと考える人を「女子優先」とした。73年には、「男子優先」は過半数の55%で、「男女平等」の40%を上回っていた。ところが88年になると「男女平等」が増え、93年には「男子優先」を上回った。その後も「男女平等」という人は増え続け、現在では77%と多くの人が男の子と女の子に同じレベルの教育を受けさせたいと考えている(図20)。

子どもに「大学まで」または「大学院まで」の高等教育を受けさせたいと考える人の割合は、年層別には大きな違いはみられない。しかし回答者の学歴別にみると、学歴が高くなるほど、男の子の場合でも女の子の場合でも「大学まで」「大学院まで」と考える人が多くなる(図21)。また、回答者の学歴が高くなるほど、男の子の場合と女の子の場合の差が縮まる。「大

図20 性別教育パタン

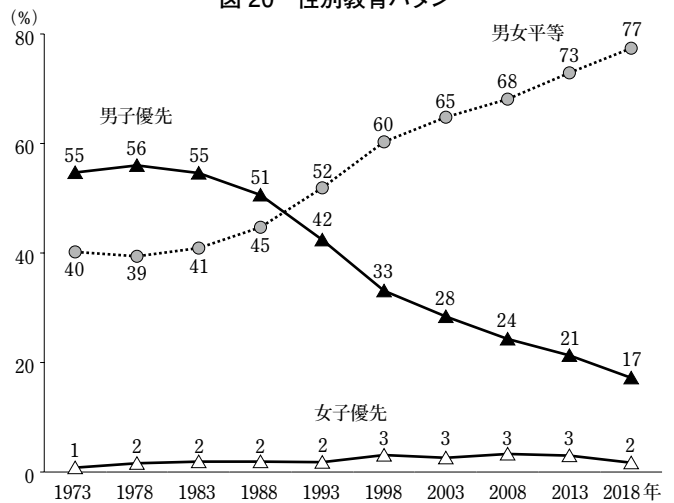
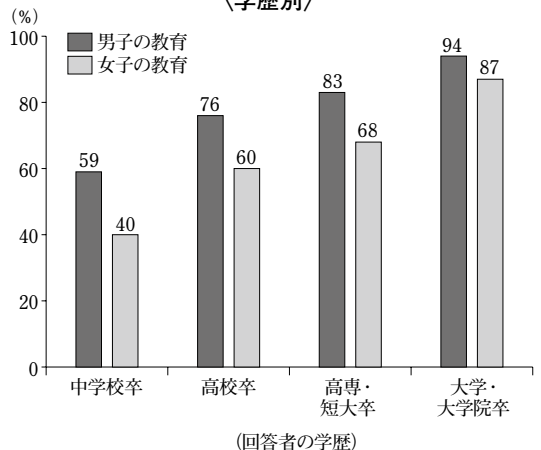


図21 子どもの教育「大学まで」+「大学院まで」(学歴別)



学・大学院卒業」の人では男の子の場合の94%に対し、女の子の場合は87%と接近している。

2.8 老後の生き方

「子どもや孫といっしょに」は減少

最後は、老後の生き方についての質問である。調査では次の6つの生き方から最も望ましいと思うものを選んでもらっている。

1. 子どもや孫といっしょに、なごやかに暮らす《子どもや孫》
2. 夫婦2人で、むつまじく暮らす《夫婦》
3. 自分の趣味をもち、のんびりと余生を送る《趣味》
4. 多くの老人仲間と、にぎやかに過ごす《老人仲間》
5. 若い人たちとつきあって、ふけこまないようにする《若者》
6. できるだけ、自分の仕事をもち続ける《仕事》

73年には《子どもや孫》が38%で最も多かったが、80年代後半から90年代にかけて大きく減った。その後いったん増加したものの、長期的には減少傾向で、現在は23%になってい

図 22 老後の生き方

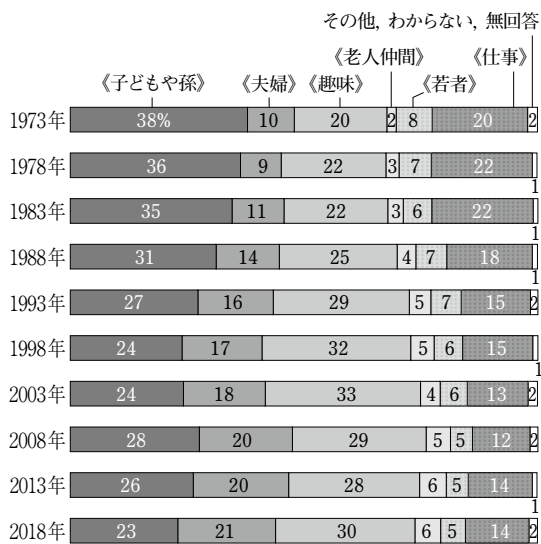
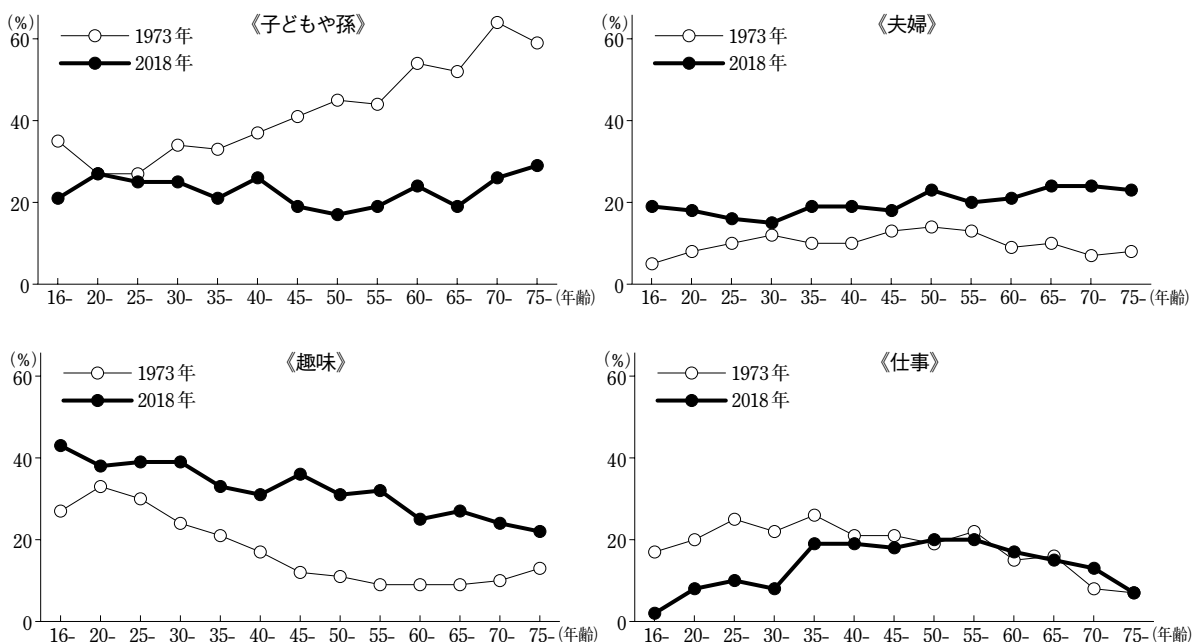


図 23 老後の生き方〈年層別〉



る。《仕事》も45年間で20%から14%に減少した。代わって増えたのが《趣味》や《夫婦》で、現在では《趣味》が30%で最も多くなっている(図22)。

45年間で変化の大きい《子どもや孫》《夫婦》《趣味》《仕事》について、年層別の変化をみた。《子どもや孫》は、73年には年齢が高くなるほど望ましいと考える人が多く、60代以上では半数を超えていたが、45年間に20代を除くすべての層で減少した。特に高年層で大きく減少し、18年の結果ではほとんど年層差がなくなっている(図23)。反対に、《仕事》は30代後半以上の中・高年層では変化がなく、30代前半までで望ましいとする人が減少した。

増加した《夫婦》と《趣味》は、どちらも幅広い年層で望ましいと考える人が増えている。《夫婦》は20代後半、30代前半、40代後半を除く年層で、《趣味》は20代と75歳以上を除く年層で増加した。

おわりに

家庭や男女関係についての意識は、「日本人の意識」調査の中でも最も変化の大きい領域だが、その変化については次のような特徴がある。

まず、全体としては男女の平等や、個人の自由、多様性を認める方向へ徐々に意識が変化している。しかし、夫の家事の質問のように、意識は大きく変わっても、実態としてはあまり変わっていないものもある。次に、この領域では増えるものは増え続け、減るものは減り続けるというように、同じ方向への変化が続いている項目が多い。そしてそのことが、45年間を通してみた場合の大きな変化につながっている。また、意識変化の構造をみると、結婚観や婚

前交渉の質問でみたような、世代交代によって全体の意識が変化している質問もあれば、女子の教育、女性の職業の質問のように、時代が変わることによって人びとの意識が大きく変化している質問もある。世代交代と時代の両方が影響している質問も多く、一見同じような変化にみえてもその要因は一様ではない。

家庭や男女関係についての考えは45年間で大きく変わったが、今も変化し続けている質問がある一方、2000年ごろから変化が小さくなった質問もある。こうした質問で今後、どういった動きがみられるのかについても注視していきたい。

(あらまき ひろし)

注：

- 1) 当初含まれていた質問や途中追加した質問で、その後削除した質問もあるが、ここでは省略した。詳細は以下の報告を参照のこと。
高橋幸市・荒牧央, 2014, 「時系列調査『日本人の意識』の変遷」『NHK 放送文化研究所年報』58
- 2) 星暁子, 2014, 「調査実施機関による結果の違いを解消する試み」『放送研究と調査』64 (9)
- 3) 内閣府, 2018, 『平成30年版少子化社会対策白書』
- 4) 「現代の生活意識」調査：2013年2～3月、全国の16歳以上の国民3,600人に配付回収法で実施。調査有効数2,547人(有効率70.8%)。(報告は上記1を参照)
- 5) 国立社会保障・人口問題研究所, 2017, 『現代日本の結婚と出産—第15回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書』
- 6) 「社会と生活に関する意識」調査：2018年9月、全国の16歳以上の国民2,091人に配付回収法で実施。調査有効数1,337人(有効率63.9%)
- 7) 厚生労働省, 2018, 『平成29年国民生活基礎調査の概況』
- 8) 炊事・掃除・洗濯、買い物、子どもの世話、家庭雑事の4つからなる
- 9) 関根智江・渡辺洋子・林田将来, 2016, 「日本人の生活時間・2015」『放送研究と調査』66 (5)
渡辺洋子, 2016, 「男女の家事時間の差はなぜ大きいままなのか」『放送研究と調査』66 (12)

第10回「日本人の意識」調査 単純集計結果

(1973年(第1回)～2013年(第9回)の結果を併記)

調査目的	5年ごとに、同じ質問、同じ方法で世論調査を重ねることによって、日本人の生活や社会についての意見の動きをとらえる。										
回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
調査時期	1973(昭和48)年 6月16日(土) ～18日(月)	1978(昭和53)年 6月24日(土) ・25日(日)	1983(昭和58)年 9月3日(土) ・4日(日)	1988(昭和63)年 6月25日(土) ・26日(日)	1993(平成5)年 10月2日(土) ・3日(日)	1998(平成10)年 10月17日(土) ～20日(火) <small>(台風のため日程拡大)</small>	2003(平成15)年 6月28日(土) ・29日(日)	2008(平成20)年 6月28日(土) ・29日(日)	2013(平成25)年 10月19日(土) ・20日(日)	2018(平成30)年 6月30日(土) ～7月22日(日)	
調査相手	全国16歳以上の国民5,400人 (450地点×12人)									全国16歳以上の国民5,400人 (360地点×15人)	
調査方法	個人面接法										
有効数(率)	4,243人 (78.1%)	4,240人 (78.5%)	4,064人 (75.3%)	3,853人 (71.4%)	3,814人 (70.6%)	3,622人 (67.1%)	3,319人 (61.5%)	3,103人 (57.5%)	3,070人 (56.9%)	2,751人 (50.9%)	

＜表記について＞

1. 表中の数字は、各選択肢の回答数を、上記の有効数で除した結果をパーセント(%)で示したもの(小数点以下第2位を四捨五入)。
2. 表中の不等号(><)は、両側の数字を比較した検定結果(信頼度95%)であり、左側(前回)が高ければ「>」で、低ければ「<」で示した。
3. 右端の不等号は左端の数字と'18年との検定結果である(例えば、第3問の表では'73年と'18年との検定結果)。
4. 調査を実施した時に、選択肢がない場合には「-」で示した。

一欠かせないコミュニケーション行動－(MA)

第1問 はじめに、ふだんの生活のことについてうかがいます。リストの中で、あなたの気持ちとして、欠かせないと思うことをいくつかあげてください。

	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
ア. 新聞を読む	81.1	79.9 >	76.6	75.6	73.1 >	67.0 >	63.2 >	51.8
イ. 本を読む	33.8	35.4	35.1	35.3	34.7	33.9 <	36.3 >	27.0
ウ. マンガ・劇画を読む	6.5 <	8.7	8.8	9.5	10.7	11.0	12.0 >	9.9
エ. 雑誌を読む(マンガ雑誌を除く)	18.1	18.6 <	21.6	22.4	21.9 >	19.9	19.5 >	13.7
オ. テレビを見る(録画を含む)	83.8	82.5 <	85.8	86.3	85.2	83.5 >	81.1 >	79.0
カ. ラジオを聞く(録音を含む)	32.4 >	30.3 >	27.8	28.4	26.8	26.8	24.8 >	21.4
キ. CDを聞く(レコードやiPodなどを含む)	22.8 <	25.8	26.5	27.0	26.9	26.6	25.4 >	20.9
ク. 携帯電話・スマートフォンを使う	-	-	-	-	39.2 <	49.8 <	55.8 <	65.4
ケ. インターネットを利用する	-	-	-	-	20.0 <	28.8 <	37.8 <	43.8
コ. 家族と話をする	79.8	80.0	79.9	80.2	78.9	79.6	79.7 >	76.8
サ. 友人と話をする	66.1 <	68.2	69.3	68.9	67.8	66.3 >	62.6 >	55.8
シ. この中にはない	0.3	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5 >	0.2 <	0.7
ス. わからない、無回答	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0

※ '03年に選択肢を追加したため、'98年と'03年、'83年と'18年の比較検定はしていない

※

※

一欠かせないコミュニケーション行動－

第2問 [第1問で「ア～サ」の人に]

では、今あげた中で、どうしても欠かせないと思うことを1つだけ選ぶとしたら、どれでしょうか [1番目]。
もう1つ選ぶとしたら、どれでしょうか [2番目]。

1番目だけの結果

1. 新聞を読む	25.9 >	23.5 >	21.1	21.9	18.0 >	15.3	14.8 >	10.7
2. 本を読む	2.0	2.0	2.0	1.9	1.7	2.1	1.7	1.4
3. マンガ・劇画を読む	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.3	0.4	0.4
4. 雑誌を読む(マンガ雑誌を除く)	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
5. テレビを見る(録画を含む)	18.9 >	16.9 <	22.2 >	19.8	19.8	20.3	19.0	17.4
6. ラジオを聞く(録音を含む)	1.6	1.8 >	1.2	1.7	1.6	1.9	1.8	1.6
7. CDを聞く(レコードやiPodなどを含む)	1.7 <	2.4	1.9	1.8	1.3	0.9	1.2	0.8
8. 携帯電話・スマートフォンを使う	-	-	-	-	4.9 <	7.3 <	8.7 <	14.1
9. インターネットを利用する	-	-	-	-	2.1 <	3.4 <	5.1	6.2
10. 家族と話をする	40.6	42.6	40.4	41.6	42.0	40.5	41.0	41.4
11. 友人と話をする	7.9	9.0	9.1	10.0	7.0	6.0	5.3	4.7
12. わからない、無回答	0.5	0.8	0.9 >	0.5	0.5 <	1.1	0.7	0.5
13. 非該当 [第1問で「シ、ス」の人]	0.3	0.4	0.5 >	0.2	0.5	0.7 >	0.3 <	0.7

※

※

1番目+2番目の結果

	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 新聞を読む	51.3 >	47.1 >	41.3	41.1	35.7 >	30.4	29.1 >	22.6
2. 本を読む	5.9	6.0	5.9	5.6	5.3	5.4	4.9	4.4
3. マンガ・劇画を読む	0.5	0.6 <	1.1	0.9	1.0	0.8	1.3	0.8
4. 雑誌を読む (マンガ雑誌を除く)	1.1	1.1	1.5	1.4	0.7	0.5	0.8 >	0.3
5. テレビを見る (録画を含む)	43.6 >	41.2 <	48.0	46.5	44.2	42.2	39.8	38.7
6. ラジオを聞く (録音を含む)	4.9	4.8	3.9	3.8	3.7 <	4.9	3.9	3.6
7. CDを聞く (レコードやiPodなどを含む)	4.6 <	6.0	5.3	4.6	3.6	3.1	3.2 >	1.9
8. 携帯電話・スマートフォンを使う	—	—	—	—	10.3 <	15.1 <	19.0 <	29.3
9. インターネットを利用する	—	—	—	—	4.4 <	8.4 <	11.0 <	13.6
10. 家族と話をする	60.1	59.8	58.5	58.1	56.6	56.2	54.9	56.6
11. 友人と話をする	23.4 <	27.0	26.9 <	29.3	25.2 >	21.5	20.8	19.8
12. わからない、無回答	3.4 <	4.7 <	5.7 <	7.8	7.9	9.0	10.0 >	6.4
13. 非該当 [第1問で「シ、ス」の人]	0.3	0.4	0.5 >	0.2	0.5	0.7 >	0.3 <	0.7

※

※

—生活の各側面についての満足感—

第3問 次に、日ごろの暮らしについて、リストのように4つに分けておたずねします。AからDまでの1つ1つについて、「そう思う」か、「そうは思わない」かをお答えください。

A. 着るものや食べもの、住まいなど、物質的に豊かな生活を送っている

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. そう思う	58.5 <	66.0 <	71.0	69.6 <	72.6	73.7	73.8	72.2 <	79.1	80.6 <
2. そうは思わない	36.1 >	28.2 >	25.7	27.3 >	23.8	23.4	22.6	22.9 >	18.1	17.4 >
3. わからない、無回答	5.4	5.7 >	3.3	3.1	3.6	2.9	3.6 <	4.9 >	2.7	2.0 >

B. 生きがいをもち、心にハリや安らぎのある生活を送っている

1. そう思う	67.4 <	72.1	72.0	71.2	71.9	70.4	69.7 <	72.7 <	76.2	77.6 <
2. そうは思わない	25.6 >	20.4 <	22.8	22.8	22.9	24.3	25.0 >	21.9 >	19.4	19.1 >
3. わからない、無回答	7.0	7.6 >	5.1	6.0	5.3	5.3	5.3	5.4	4.4 >	3.2 >

C. 環境がととのい、安全で快適に過ごせる地域に住んでいる

1. そう思う	59.7 <	67.3 <	69.7	70.3	72.2	74.0	75.3 <	80.0 <	87.0	87.2 <
2. そうは思わない	36.6 >	28.6	27.2	26.3	24.6 >	22.4	20.5 >	16.0 >	10.7	10.3 >
3. わからない、無回答	3.7	4.1 >	3.1	3.3	3.2	3.6	4.2	4.0 >	2.4	2.4 >

D. この地域や自分の職場・学校には、打ちとけて話し合ったり、気持ちよくつきあえる人が多い

1. そう思う	65.9 <	71.3 >	69.0	70.3	71.9 >	68.7	69.9	71.2	71.5 <	75.2 <
2. そうは思わない	28.4 >	22.4 <	25.2	24.6 >	22.3 <	25.3	24.0	22.8	23.7 >	20.6 >
3. わからない、無回答	5.7	6.3	5.8	5.1	5.8	6.0	6.1	6.1 >	4.8	4.1 >

—生活全体についての満足感—

第4問 あなたは今の生活に、全体としてどの程度満足していますか。リストの中から、あなたのお気持ちに近いものをあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 満足している	満足	20.7 <	24.0 <	25.9	24.8	25.9	26.1	25.4 <	27.6 <	34.0 <	38.7 <
2. どちらかといえば、満足している	やや満足	56.8 <	61.1	60.5	61.3	61.3	60.6	60.5	59.1	57.3 >	53.0 >
3. どちらかといえば、不満だ	やや不満	18.2 >	12.3	11.4	11.4	10.4	11.3	11.5	10.7 >	7.1	6.8 >
4. 不満だ	不満	3.2 >	1.9	1.7	1.8	1.7	1.6	1.9	2.0 >	1.3	1.2 >
5. わからない、無回答	DK, NA	1.0 >	0.6	0.6	0.7	0.8 >	0.4	0.7	0.6	0.3	0.3 >

—貯蓄・消費態度—

第5問 今かりに、お宅の1か月分程度の臨時収入が、あなたの手に入ったとします。あなたはそのお金をどうするのがいちばんいいと思いますか。リストの中から選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 先のことは考えないで、思いきりよく使ってしまう	無計画消費	11.3	11.0	11.2 <	12.8	12.3	12.2 >	10.5	9.9	9.7	10.9
2. 何に使うか計画をたてて、その費用にあてる	計画的消費	42.4	41.4	39.5 <	42.4	42.8	44.3	46.2	43.9	46.3 >	43.3
3. 将来必要となるかもしれないから、貯蓄しておく	貯蓄	43.9	45.3	47.1 >	42.0	42.3	41.1	40.4 <	43.2	41.5	43.3
4. その他		0.4 <	1.0	1.3	1.1	1.1	1.1	1.1	1.4	1.0 >	0.5
5. わからない、無回答	DK, NA	2.1 >	1.4 >	0.9 <	1.7	1.5	1.2	1.7	1.6	1.6	2.0

—生活目標—

第6問 人によって生活の目標もいろいろですが、リストのように分けると、あなたの生活目標にいちばん近いのはどれですか。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. その日その日を、自由楽しく過ごす	快志向	21.0	19.9 <	22.4 <	25.0 >	23.0 <	25.1	24.1	24.0	25.6	25.6 <
2. しっかりと計画をたてて、豊かな生活を築く	利志向	32.5	30.7	31.9 >	28.5	28.6 >	25.5	26.0 >	23.5	22.9	23.5 >
3. 身近な人たちと、なごやかな毎日を送る	愛志向	30.5 <	35.2	35.4 <	38.5	39.7	41.4	41.4 <	45.1	45.0	45.9 <
4. みんなと力を合わせて、世の中をよくする	正志向	13.8	12.7 >	9.1 >	6.5	6.6	6.5	6.7	5.6	5.3 >	4.2 >
5. その他		0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1
6. わからない、無回答	DK, NA	2.0 >	1.4	1.0	1.2	1.7	1.2	1.7	1.5	1.0	0.7 >

—生活充実手段—

第7問 リストには、私たちの生活を充実させるために必要と思われる項目を、5つ並べてあります。この中から、あなたが必要と思われる順に項目をあげてください。

A. 豊かな趣味

1. 第1位	1.3	1.6	1.9 <	2.9	3.2	3.7	3.6	4.3	3.6 <	4.8 <
2. 第2位	4.9 <	6.1	6.0 <	8.4	9.3	9.9	10.3	9.4	9.1 <	11.2 <
3. 第3位	10.7	11.9	12.2 <	14.7	15.8	16.9	15.6	15.8	16.9 >	14.9 <
4. 第4位	23.1	23.7	22.4	23.6	25.4	24.8	25.8	25.5 >	22.6	23.1
5. 第5位	55.5 >	52.0	53.7 >	48.0 >	43.8	41.7	42.6	41.7 <	45.0	43.9 >
6. わからない、無回答	4.6	4.6	3.8 >	2.4	2.5	3.0 >	2.0 <	3.4	2.8	2.1 >

B. やりがいのある仕事や活動

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 第1位	9.0	8.8	8.0	7.8	7.2	7.3	8.1 >	6.3	6.3	7.3 >
2. 第2位	26.7	27.0	26.9 >	24.8	24.1 >	21.7	21.6	21.9	21.8	20.6 >
3. 第3位	29.0	29.1	29.6	28.3	27.4	26.0	26.7 >	23.8	24.5	24.0 >
4. 第4位	19.8	18.5	19.1	20.3	20.2	21.3	21.4	22.1	23.1	22.8 <
5. 第5位	11.5	12.4	12.6 <	16.3 <	18.2 <	21.0	19.9	21.8	21.2	23.1 <
6. わからない, 無回答	3.9	4.3	3.8 >	2.4	2.8	2.7	2.4 <	4.0	3.1	2.3 >

C. 経済力

1. 第1位	6.8	7.4	8.5 >	7.0 <	8.9 >	7.6 <	9.6	9.2 <	10.8	11.6 <
2. 第2位	35.3	33.8	32.9	33.0	31.5	32.9	34.4	32.5	32.7	31.5 >
3. 第3位	26.0	24.4	23.8	25.0	24.3	24.4	23.5	24.2	24.7	26.2
4. 第4位	16.7	17.4	17.9	18.1	17.7	17.7 >	15.6	16.6	16.7	17.7
5. 第5位	11.7	13.1	13.5	14.4	15.2	14.7	14.8	14.1	12.8	11.3
6. わからない, 無回答	3.6	3.9	3.4 >	2.5	2.3	2.6	2.1 <	3.4 >	2.3	1.8 >

D. なごやかなつきあい

1. 第1位	3.7	4.2	3.9	4.3	4.6	4.6	4.7	5.2	5.0	5.5 <
2. 第2位	18.9	19.5	20.1	20.0	20.9	21.6 >	18.8 <	21.4	21.4	20.7
3. 第3位	25.7	24.9	26.4	24.9	24.9	24.7	25.7	26.6	25.2	25.6
4. 第4位	33.4	32.6	33.3	32.4 >	30.3	29.4	31.2 >	28.2 <	30.9	29.8 >
5. 第5位	15.4	15.9 >	13.8 <	16.3	17.5	17.6	18.0 >	15.9	15.6	17.2 <
6. わからない, 無回答	2.9	2.8	2.5	2.1	1.8	2.1	1.6 <	2.7 >	1.9 >	1.2 >

E. 健康な体

1. 第1位	78.3	77.2	77.3	77.1	75.4	75.5 >	73.3	74.1	74.0 >	70.5 >
2. 第2位	12.3	11.8	13.1	12.5	13.1	12.4	13.7	12.9	14.0	15.3 <
3. 第3位	5.1	6.0	5.2	4.9	5.5	5.7	6.7	6.5	6.1 <	7.6 <
4. 第4位	2.1	2.5	2.6	2.8	3.3	3.4	3.4	3.4	3.5	4.1 <
5. 第5位	0.8 <	1.3	1.3 <	1.9	1.9	1.5	2.1	2.0	1.9	1.9 <
6. わからない, 無回答	1.3	1.2 >	0.6	0.9	0.8 <	1.4 >	0.8	1.2 >	0.6	0.5 >

—理想の家庭—

第8問 リストには、異なった4軒の家庭の様子が書いてあります。あなたはどの家庭が最も好ましいとお考えですか。

東さん：父親は一家の主人としての威厳をもち、母親は父親をもちたてて、心から尽くしている

西さん：父親も母親も、自分の仕事や趣味をもっていて、それぞれ熱心に打ち込んでいる

南さん：父親は仕事に力を注ぎ、母親は任された家庭をしっかりと守っている

北さん：父親はなにかと家庭のことにも気がつかない、母親も暖かい家庭づくりに専念している

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 東さん	夫唱婦随	21.9	20.7 <	23.0 >	20.2 >	17.4 >	12.6	13.2	12.7 >	10.3 >	7.5 >
2. 西さん	夫婦自立	14.5	16.0	16.1	17.5	19.0 <	22.6	23.0 >	19.5 <	23.5 <	26.5 <
3. 南さん	性役割分担	39.2	37.6 >	29.2 >	25.0 >	19.9 >	16.7 >	14.7	15.5	14.9	14.8 >
4. 北さん	家庭内協力	21.2	22.9 <	29.3 <	34.5 <	41.1 <	45.3	45.8 <	48.4	48.0	47.8 <
5. その他		0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4 >	0.1	0.2 <
6. わからない, 無回答	DK, NA	3.1	2.7	2.3	2.4	2.3	2.7	3.1	3.4	3.2	3.2

—人間関係（親せき）—

第9問 親せきとは、どんなつきあいをするのが望ましいと思いますか。リストの中からお答えください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 一応の礼儀を尽くす程度のつきあい	形式的つきあい	8.4	8.6 <	9.9 <	12.5 <	15.8	17.3 <	20.0	21.6 <	24.2	26.2 <
2. 気軽に行き来できるようなつきあい	部分的つきあい	39.7	40.1 <	45.2	45.3	46.5	46.4	46.8 >	42.8	42.2	43.2 <
3. なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい	全面的つきあい	51.2	50.5 >	44.3 >	41.2 >	36.6	35.6 >	32.2 <	34.8 >	32.4 >	29.7 >
4. その他		0.1	0.1	0.2	0.1 <	0.3 >	0.1	0.2	0.1 <	0.4 >	0.1
5. わからない、無回答	DK, NA	0.7	0.7 >	0.3 <	0.8	0.8	0.7	0.9	0.8	0.8	0.7

—権威・平等（社会的地位）—

第10問 リストの甲、乙どちらかの人に、結婚式の仲人を頼むとしたら、どちらの人がよいと思いますか。

甲：社会的地位は低いが、結婚する2人をよく知っている人

乙：結婚する2人を十分には知らないが、ある程度社会的地位の高い人

	(略称)										
1. 甲の人がよい	平等	84.7	84.4	84.7 >	82.3	83.7 <	86.1	87.0	87.1	86.8	86.5 <
2. 乙の人がよい	権威	10.4	11.0	11.0 <	13.0	11.7 >	9.8 >	8.2	8.8	9.3	9.2
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	4.9	4.6	4.3	4.7	4.6	4.1	4.8	4.2	3.9	4.3

—男女のあり方（名字）—

第11問 一般に、結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。リストの中からお答えください。

	(略称)										
1. 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のるべきだ	当然、夫の姓	45.6	43.7 <	46.6 >	41.6 >	36.2 >	32.6 >	29.2 <	32.5	32.6 >	28.8 >
2. 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい	現状では夫の姓	26.5	27.4	27.4	28.9	27.1 >	24.6	24.7	24.9	23.9 >	21.7 >
3. 夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい	どちらでもよい	22.7	23.9 >	21.2	22.8 <	26.3 <	29.2	29.8	28.3 <	30.7	32.3 <
4. わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のまままでよい	別姓でよい	2.9	3.2	3.3 <	4.7 <	7.8 <	11.5 <	13.3 >	11.3	10.7 <	14.2 <
5. その他		0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.3	0.4	0.5	0.6 <
6. わからない、無回答	DK, NA	2.2	1.8	1.3	1.7	2.3 >	1.6 <	2.7	2.5 >	1.6 <	2.5

—男女のあり方（家庭と職業）—

第12問 結婚した女性が職業をもち続けることについては、どうお考えでしょうか。リストの中から、あなたのお考えに近いものを選んでください。

	(略称)										
1. 結婚したら、家庭を守ることに専念したほうがよい	家庭専念	35.2 >	30.1	28.6 >	23.9 >	18.3 >	13.4	12.6	12.0	10.6 >	8.3 >
2. 結婚しても子どもができるまでは、職業をもっていたほうがよい	育児優先	42.0	40.5	39.8	39.4	41.0 >	37.8 >	34.9	36.6 >	30.6	28.6 >
3. 結婚して子どもが生まれても、できるだけ職業をもち続けたほうがよい	両立	20.3 <	27.1 <	29.3 <	33.3 <	37.1 <	45.5 <	48.5	48.1 <	56.3 <	59.9 <
4. その他		0.2 <	0.6	0.8 <	1.3	1.2	1.0	1.3	1.0	1.2	0.8 <
5. わからない、無回答	DK, NA	2.3 >	1.7	1.5	2.0	2.4	2.3	2.8	2.3 >	1.3 <	2.4

－権威・平等（男女）－

第13問 リストには、父親が台所の手伝いや子どものおもりをする事について、甲、乙2つの意見をのせてあります。あなたはどちらに賛成しますか。

甲：台所の手伝いや子どものおもりは、一家の主人である男子のすることではない

乙：夫婦は互いにたすけ合うべきものだから、夫が台所の手伝いや子どものおもりするのは当然だ

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 甲に賛成	すべきでない	38.0 >	33.1 >	28.1 >	21.9 >	17.7 >	12.0 >	9.6	9.7	8.3	7.6 >
2. 乙に賛成	するのは当然	53.2 <	59.6 <	67.4 <	72.3 <	76.6 <	84.4 <	86.1	86.3 <	89.3	89.4 <
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	8.8 >	7.3 >	4.5 <	5.8	5.7 >	3.6	4.3	4.0 >	2.4	3.0 >

－父親のあり方－

第14問 ことし学校を卒業して社会に出た男の子がいるとします。父親はその子に対して、どういう態度をとるのがいちばんいいとお考えですか。リストの中から、選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. みずから模範を示し、見習わせる	模範	8.3 <	9.6	9.2 >	6.7	6.6 >	5.5	5.0	5.9	5.0	5.1 >
2. より多く人生の経験を積んだ者として、忠告や助言を与える	忠告	41.0 <	44.2	45.0	43.0	41.6	41.3 <	44.9 <	47.8	46.8 >	39.5
3. ひとりの同じ人間として、親しい仲間のようにつきあう	仲間	32.1 >	29.7 >	27.3	28.3	27.7	29.0 >	25.6 >	22.1	23.0	23.6 >
4. 子どもを信頼して、干渉しない	不干渉	15.0	13.9 <	16.4 <	19.6 <	21.8	22.0	21.7	21.5	23.1 <	29.5 <
5. その他		0.1 >	0.0 <	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1
6. わからない、無回答	DK, NA	3.5 >	2.6	2.0	2.1	2.1	1.9 <	2.7	2.5	1.9	2.2 >

－老後の生き方－

第15問 リストには、いろいろな老後の生き方がのっています。この中であなたはどれが最も望ましいと思いますか。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 子どもや孫といっしょに、なごやかに暮らす	子どもや孫	37.9	36.4	34.6 >	31.2 >	27.3 >	23.9	24.2 <	27.6	26.3 >	23.0 >
2. 夫婦2人で、むつまじく暮らす	夫婦	10.0 >	8.7 <	11.1 <	13.5 <	16.1	17.1	17.5 <	19.9	20.4	20.9 <
3. 自分の趣味をもち、のんびりと余生を送る	趣味	19.8 <	22.4	22.2 <	25.2 <	29.1 <	31.8	33.2 >	28.6	28.3	29.8 <
4. 多くの老人仲間と、にぎやかに過ごす	老人仲間	2.2	2.8	3.3	4.0	4.6	5.0	4.2	5.2	5.7	5.5 <
5. 若い人たちとつきあって、ふけこまないようにする	若者	7.7	6.9	6.1	6.6	6.5	6.1	5.8 >	4.7	4.7	5.3 >
6. できるだけ、自分の仕事をもち続ける	仕事	20.4	21.6	21.7 >	18.3 >	14.8	15.0 >	13.0	12.3	13.7	13.6 >
7. その他		0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
8. わからない、無回答	DK, NA	2.0 >	1.1	0.8	1.0 <	1.5 >	0.9 <	1.8	1.5 >	0.9 <	1.7

一能率・情緒（仕事の相手）一

第16問 かりにあなたが、リストにあげた甲、乙いずれかの人と組んで仕事をするとします。その仕事がかかりむずかしく、しかも長期間にわたる場合、あなたはどちらの人を選びたいと思いますか。

甲：多少つきあいにくいが、能力のすぐれた人

乙：多少能力は劣るが、人柄のよい人

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 甲の人を選ぶ	能率	26.9	25.2	24.4	25.0	24.6	25.2 <	29.0	28.1	27.0 >	24.6 >
2. 乙の人を選ぶ	情緒	68.0 <	70.4	72.1	71.1	70.8	71.1 >	66.9	68.1	70.3	71.6 <
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	5.0	4.4 >	3.5	3.9	4.6	3.7	4.1	3.9 >	2.7 <	3.8 >

一人間関係（職場）一

第17問 職場の同僚とは、どんなつきあいをするのが望ましいと思いますか。リストの中からお答えください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 仕事に直接関係する範囲のつきあい	形式的つきあい	11.3	10.4 <	13.6	15.1 <	17.8 <	20.3	21.7 <	24.1	26.2	27.1 <
2. 仕事が終わってからも、話し合ったり遊んだりするつきあい	部分的つきあい	26.4 <	31.4	32.3 <	37.6	38.8	38.9	37.5 >	34.3	35.3	33.0 <
3. なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい	全面的つきあい	59.4 >	55.3 >	52.3 >	44.6 >	40.4	38.3	37.8	38.9 >	36.4	37.2 >
4. その他		0.1 >	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
5. わからない、無回答	DK, NA	2.8	3.0 >	1.8 <	2.5	2.9	2.4	2.9	2.6	2.0	2.7

一結社・闘争性（職場）一

第18問 かりにあなたが、新しくできた会社に雇われたとします。しばらくしてから、雇われた人々の間で、給料とか働く時間などの労働条件について、強い不満が起きたとしたら、あなたはどうかしますか。リストの中から選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. できたばかりの会社で、労働条件はしだいによくなっていくと思うから、しばらく事態を見守る	静観	37.2 <	41.6 <	47.6	48.2 >	45.4 <	49.3	50.2	50.2	51.5	50.6 <
2. 上役に頼んで、みんなの労働条件がよくなるように、取りはからってもらおう	依頼	23.6 >	21.6	22.4	23.6 <	26.1	25.1	25.5	26.4	27.7	28.6 <
3. みんなで労働組合をつくり、労働条件がよくなるように活動する	活動	31.5	30.7 >	25.1 >	22.0	21.9	20.5 >	18.2	17.8	16.5	15.6 >
4. その他		0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.4 <
5. わからない、無回答	DK, NA	7.7 >	5.9 >	4.6 <	5.9	6.2 >	4.7 <	5.8	5.3 >	3.7 <	4.8 >

－理想の仕事－

第19問 仕事にもいろいろありますが、どんな仕事が理想的だと思いますか。あなたがいちばん理想的だと思う仕事と、2番目にそう思う仕事とを、リストの中から選んでください。

1番目だけの結果

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 働く時間が短い仕事	時間	5.2 >	4.2	3.9	3.8 <	5.0	4.3	3.7	4.0	4.1	3.3 >
2. 失業の心配がない仕事	失業	11.0 <	17.6	16.3 >	14.4 >	12.3 <	15.9	17.0	16.0 <	19.1 >	12.9 <
3. 健康をそこなう心配がない仕事	健康	28.2 >	21.7	21.1	19.6	20.3 >	18.4 >	15.5	16.9	17.3 <	19.6 >
4. 高い収入が得られる仕事	収入	6.2	6.8	7.5	8.0 <	9.9 >	7.2	8.3	7.8	6.8 <	8.9 <
5. 仲間と楽しく働ける仕事	仲間	14.5	15.2 <	16.8 <	19.1 <	21.2	20.8	20.3	21.4	19.6 <	22.6 <
6. 責任者として、さいはいが振るえる仕事	責任	2.0	2.5 <	3.3	4.0 >	2.8	2.5	2.2	2.5	2.6	2.2
7. 独立して、人に気がねなくやれる仕事	独立	9.7	8.5	7.8	6.7 >	4.6	5.2 >	4.2	3.3	2.7	3.5 >
8. 専門知識や特技が生かせる仕事	専門	14.7	15.9	17.5	18.0	16.6	18.2 <	20.1 >	17.7	17.6	16.4
9. 世間からもてはやされる仕事	名声	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2
10. 世の中のためになる仕事	貢献	6.2 >	5.1	4.2	4.6	5.3	5.9	7.0	7.9	8.8	8.7 <
11. その他		0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1 >	0.0	0.0	0.1	0.1
12. わからない、無回答	DK, NA	2.1	2.2 >	1.3	1.5	1.8	1.5	1.6 <	2.5 >	1.3	1.5

1番目+2番目の結果

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 働く時間が短い仕事	時間	8.3 >	6.8	6.8	7.3 <	9.4	8.3 >	6.7	7.3	7.6	7.7
2. 失業の心配がない仕事	失業	20.2 <	28.6	27.0 >	23.7 >	21.5 <	26.2 <	29.3	27.3 <	31.1 >	24.1 <
3. 健康をそこなう心配がない仕事	健康	46.5 >	38.6	37.9	36.1	36.4 >	33.9 >	31.4 <	33.7	32.7 <	37.3 >
4. 高い収入が得られる仕事	収入	19.2	19.6 <	22.0	23.2	23.9 >	20.2 <	22.2 >	19.7	17.8 <	20.6
5. 仲間と楽しく働ける仕事	仲間	36.6	36.8	38.6 <	42.5	43.8	43.5	41.3	42.5	42.7	44.8 <
6. 責任者として、さいはいが振るえる仕事	責任	4.5 <	5.5	6.4	7.0	6.2	5.6	5.6	5.1	4.9	4.6
7. 独立して、人に気がねなくやれる仕事	独立	17.3 >	15.7 >	14.0	12.7 >	9.1	10.0 >	8.0 >	6.4	5.4	6.0 >
8. 専門知識や特技が生かせる仕事	専門	26.0 <	28.4	29.9	30.2 >	28.1 <	30.9	31.5 >	29.2	29.2	29.4 <
9. 世間からもてはやされる仕事	名声	0.4	0.7	0.8	0.5	0.8 >	0.3	0.6	0.6	0.4 <	0.8 <
10. 世の中のためになる仕事	貢献	15.6 >	13.4	12.8	12.2 <	16.0	16.7 <	19.1 <	21.6 <	24.2 >	21.0 <
11. その他		0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
12. わからない、無回答	DK, NA	3.2	3.4 >	2.4	2.8	2.8	2.8	2.6 <	4.2 >	2.6	2.0 >

－余暇の過ごし方（現状）－

第20問 余暇についてですが、現在あなたはどんなことをして、自分の自由になる時間を過ごしていることが多いですか。リストの中から、いちばん多いものと2番目に多いものをお答えください。

1番目だけの結果

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 好きなことをして楽しむ	好きなこと	42.9	44.0 >	40.9 <	44.3	43.9	44.9	43.9 <	47.0	47.2	45.7 <
2. 体をやすめて、あずに備える	休息	26.6 >	24.1	23.6 >	20.1	19.6	18.8	19.0	17.6	17.8	18.9 >
3. 運動をして、体をきたえる	運動	4.5 <	6.8	7.8	7.3	7.3	7.8	7.4	7.3	8.2	8.6 <
4. 知識を身につけたり、心を豊かにする	知識	10.3 >	8.8	9.6	9.3	8.9	8.1	8.0	7.7	8.3	7.0 >
5. 友人や家族との結びつきを深める	友人・家族	12.1	13.2 <	15.6	16.6	18.1	18.3	18.7	17.6	16.1	17.7 <
6. 世の中のためになる活動をする	社会活動	1.9	1.9	1.7	1.5 >	0.9 <	1.6	1.7	1.4	1.3	1.2 >
7. その他		0.1 <	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.5	0.3 <
8. 無回答	NA	1.6 >	1.0 >	0.5	0.7	0.9 >	0.2 <	1.0	1.2 >	0.5	0.7 >

1 番目 + 2 番目の結果

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 好きなことをして楽しむ	好きなこと	61.5	62.3 >	59.8 <	63.5	63.4 <	66.7	66.1	66.7	68.7	68.6 <
2. 体をやすめて、あずに備える	休息	47.9 >	44.3	43.7 >	41.2	41.1	39.8	40.6	39.9	39.3 <	43.3 >
3. 運動をして、体をきたえる	運動	12.8 <	16.7	17.5	17.5	17.0	17.0	17.2	18.4	19.2	18.7 <
4. 知識を身につけたり、心を豊かにする	知識	26.6	24.8	23.6	23.2	21.4	21.6	20.7	19.4	20.1 >	18.0 >
5. 友人や家族との結びつきを深める	友人・家族	39.8	41.5 <	46.8	46.2 <	48.6	47.0	45.4	45.0	43.6	44.0 <
6. 世の中のためになる活動をする	社会活動	6.5	6.2 >	5.2	4.8	4.6	5.5	6.0	5.4	5.4	4.5 >
7. その他		0.1 <	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.7	0.4 <
8. 無回答	NA	3.1	2.8	2.4	2.5	2.5	1.9 <	2.6 <	3.5 >	2.6	1.9 >

－余暇の過ごし方（将来）－

第21問 将来はどんなことをして、自由になる時間を過ごしたいとお考えですか。今回は1つだけ選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 好きなことをして楽しむ	好きなこと	37.3	35.5	35.4 <	38.9	38.7	38.0	38.3	38.0 <	40.6 <	43.9 <
2. 体をやすめて、あずに備える	休息	6.9	6.0	5.4	4.7	5.2	4.9	5.4	5.9	5.6	6.8
3. 運動をして、体をきたえる	運動	4.5 <	8.0	7.3	7.2	6.8	7.0	6.5	7.3	8.4	8.5 <
4. 知識を身につけたり、心を豊かにする	知識	23.9	23.6	24.5	22.9 >	20.0	20.4	18.6	17.0	15.9	14.3 >
5. 友人や家族との結びつきを深める	友人・家族	15.7	16.0	17.6	18.1	18.1	19.3	20.6	20.3	19.9	18.8 <
6. 世の中のためになる活動をする	社会活動	8.9	8.9	8.5 >	6.8 <	9.5	9.2	9.0	9.5 >	8.0 >	6.2 >
7. その他		0.0 <	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	0.3	0.3	0.3 <
8. わからない、無回答	DK, NA	2.7 >	1.8 >	1.0	1.2	1.4	1.1	1.4	1.6	1.4	1.3 >

－仕事と余暇－

第22問 リストには、仕事と余暇のあり方について、いろいろな意見がのっています。あなたはどれが最も望ましいと思いますか。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 仕事よりも、余暇の中に生きがいを求める	余暇絶対	4.0	4.1 <	5.6	5.7 <	7.4 <	8.8	8.6	9.4	10.7	10.2 <
2. 仕事はさっさとかたづけて、できるだけ余暇を楽しむ	余暇優先	28.1 >	25.3	25.5 <	28.3	28.7	28.3 >	25.6	26.1	26.0	25.7 >
3. 仕事にも余暇にも、同じくらい力を入れる	仕事・余暇両立	20.9 <	24.9 <	27.9 <	32.4 <	35.3	35.1 <	37.5 >	34.9	35.9	38.1 <
4. 余暇も時には楽しむが、仕事のほうに力を注ぐ	仕事優先	35.7	34.9 >	31.2 >	26.1 >	21.2	20.5	21.1	21.4	20.5	19.4 >
5. 仕事に生きがいを求めて、全力を傾ける	仕事絶対	8.2	8.5	7.8 >	5.1	4.6	5.1	4.4	4.7	4.5	3.9 >
6. その他		0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
7. わからない、無回答	DK, NA	3.2 >	2.3	1.9	2.2	2.7	2.3	2.7	3.4 >	2.2	2.7

－能率・情緒（旅行）－

第23問 リストには、旅行のしかたが甲、乙2つあります。どちらがあなたの好みに合っていますか。費用や時間は甲、乙2つとも同じくらいとして考えてみてください。

甲：最大限に旅行を楽しめるように、あらかじめ計画を十分に練って旅行する

乙：行く先々での気分やまわりの様子に応じて、気の向くままに旅行する

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 甲が好みに合う	能率	61.0 <	63.3 >	60.7	59.5	57.7	56.2	56.8	58.9	58.5	58.6 >
2. 乙が好みに合う	情緒	34.6	33.4 <	36.2	37.5	38.6 <	41.0	39.6	37.7	39.0	38.3 <
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	4.4 >	3.3	3.1	3.0	3.7 >	2.8	3.6	3.4 >	2.5	3.1 >

－男女のあり方（男子の教育）－

第24問 話は変わりますが、今かりにあなたに中学生の男のお子さんがいるとします。あなたはそのお子さんに、どの程度の教育を受けさせたいと思いますか。リストの中から選んでください。

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 中学まで	0.5	0.3	0.3	0.1	0.3 <	0.6	0.3 <	0.7	0.4	0.3
2. 高校まで	17.1 >	14.6	15.4 >	11.4	11.5 <	13.6 >	11.4	11.8	10.5	10.0 >
3. 短大・高専まで	8.7	9.2	9.7	8.5	8.9	10.0	9.2	8.7	9.7 >	7.6
4. 大学まで	64.1 <	67.5	68.0 <	72.2 >	70.0 >	67.1	67.7	67.9 <	70.3	71.6 <
5. 大学院まで	6.1	5.9 >	4.5	5.3	5.7	5.7 <	7.7	7.0	6.7	7.2
6. その他	0.1 <	0.4 <	0.8	0.8 <	1.4	1.5	1.7	1.4	1.2	1.5 <
7. わからない、無回答	3.4 >	2.2 >	1.4	1.7	2.2	1.6	2.0	2.5 >	1.2	1.7 >

－男女のあり方（女子の教育）－

第25問 では、かりに、中学生の女のお子さんがあるとしたらどうでしょうか。同じリストの中から選んでください。

1. 中学まで	1.0 >	0.5	0.5 >	0.2	0.3	0.4	0.3	0.6	0.3	0.3 >
2. 高校まで	42.3 >	33.6 >	30.2 >	20.8 >	18.4	17.8 >	13.9	13.3 >	11.5	11.2 >
3. 短大・高専まで	30.0 <	38.5 <	43.3	43.9 >	39.8 >	34.1 >	30.3 >	27.0	25.2 >	19.6 >
4. 大学まで	21.7 <	23.5	22.8 <	31.0 <	35.4 <	41.1 <	47.7 <	51.7 <	56.7 <	61.2 <
5. 大学院まで	1.4	1.3	1.1 <	1.7 <	2.4	3.1	3.9	3.6	3.7	4.1 <
6. その他	0.2	0.4	0.6	0.8 <	1.4	1.7	1.9	1.4	1.3	1.6 <
7. わからない、無回答	3.4 >	2.1 >	1.5	1.7	2.3	1.7	2.0	2.4 >	1.3 <	2.0 >

－理想の人間像－

第26問 今の世の中で、子どもたちがどんな人間に育つことがいちばん望ましいと思いますか。リストの中から1つだけ選んでください。

	(略称)										
1. 秩序を守る、規律正しい人間	規律型	21.5 <	23.7 <	30.0 >	23.2 >	21.2	22.3 <	26.7 <	29.2 >	26.8	26.4 <
2. お互いの権利や生活を尊ぶ人間	権利型	16.8	16.4	16.4	17.0 <	19.8	19.7	18.7	17.5 >	14.5	16.0
3. 実社会で役立つ知識や技能を身につけた人間	実用型	22.2	21.0 >	18.8	18.1	17.8	18.2	16.8 >	14.4 <	19.5	19.2 >
4. 教養があり、心が豊かな人間	教養型	36.7	36.9 >	33.4 <	40.0	39.0	38.7 >	36.3	36.6	37.9	36.8
5. その他		0.0	0.1 <	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.2 <
6. わからない、無回答	DK, NA	2.8 >	1.9 >	1.1	1.5	1.8 >	0.8 <	1.3	1.8 >	1.1	1.5 >

一宗教的行動一 (MA)

第27問 宗教とか信仰とかに関係すると思われることがらで、あなたがおこなっているものがありますか。ありましたら、リストの中からいくつでもあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
ア. ふだんから、礼拝、お勤め、修行、布教など宗教的なおこないをしている	礼拝・布教	15.4	16.0	17.0 >	14.9 >	13.2 >	11.4	12.4	12.3	11.4 >	9.7 >
イ. おりにふれ、お祈りやお勤めをしている	お祈り	16.6	15.8	15.8 >	14.2	14.1	12.7	12.0	12.4	11.8	10.6 >
ウ. 年に1, 2回程度は墓参りをしている	墓参り	62.0 <	64.8 <	67.7 >	65.0 <	69.7 >	67.5	67.6	68.4 <	72.0	70.9 <
エ. 聖書・経典など宗教関係の本を、おりにふれ読んでいる	聖書・経典	10.7	10.6	10.4 >	8.9 >	7.4	6.8	6.4	5.4	6.0	5.3 >
オ. この1, 2年の間に、身の安全や商売繁盛、入試合格などを、祈願しにいったことがある	祈願	23.0 <	31.2	31.6	32.2 >	28.4	29.1 <	31.3	29.7	28.7 >	25.4 <
カ. お守りやおふだなど、魔よけや縁起ものを自分の身のまわりにおいている	お守り・おふだ	30.6 <	34.4	36.2	34.6	32.8 >	30.6 <	35.0	34.9	34.7 >	30.4
キ. この1, 2年の間に、おみくじを引いたり、易や占いをしてもらったことがある	おみくじ・占い	19.2 <	22.8	21.9	20.5	22.2	22.7	23.4	25.3	24.8	24.4 <
ク. 宗教とか信仰とかに関係していると思われることがらは、何もおこなっていない	していない	15.4 >	11.7 >	9.6	9.9	8.8 <	11.4	10.2 >	8.7	7.5 <	11.5 >
ケ. その他		0.2	0.3	0.4	0.5	0.4 <	0.8	0.6	0.7	1.0	0.7 <
コ. 無回答	NA	1.4	1.8 >	1.0 <	1.9 <	2.6 >	1.7 <	3.0	3.3	2.5 >	1.1

一信仰・信心一 (MA)

第28問 また、宗教とか信仰とかに関係すると思われることがらで、あなた信じているものがありますか。もしあれば、リストの中からいくつでもあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
ア. 神	神	32.5 <	37.0	38.9 >	36.0	35.2 >	31.5	30.9	32.5	31.9	30.6
イ. 仏	仏	41.6 <	44.8	43.8	44.6	44.1 >	38.7	38.6 <	42.2	40.9 >	37.8 >
ウ. 聖書や経典などの教え	聖書・経典の教え	9.7	9.3	8.9 >	7.5	6.4	6.6	6.4	6.4	5.8	5.7 >
エ. あの世、来世	あの世	6.6 <	9.0 <	11.7	11.9 <	13.4 >	9.7	10.9 <	14.6	13.4 >	10.8 <
オ. 奇跡	奇跡	12.8 <	14.9	15.1	14.4 >	12.6 <	14.3	15.3 <	17.5	16.4 >	14.0
カ. お守りやおふだなどの力	お守り・おふだの力	13.6 <	15.8	15.5	14.4	15.8 >	13.7	15.0 <	17.4	16.7	15.7 <
キ. 易や占い	易・占い	6.0 <	8.3	8.3 >	7.0	5.9	6.0 <	7.4	6.6 >	5.3	4.6 >
ク. 宗教とか信仰とかに関係していると思われることがらは、何も信じていない	信じていない	30.4 >	23.9	23.3 <	25.8	24.3 <	29.5 >	25.6	23.5 <	25.9 <	31.8
ケ. その他		0.2	0.3 <	0.6	0.4 <	0.8 <	1.4 >	0.9	1.3	1.6 >	0.2
コ. わからない、無回答	DK, NA	5.3	5.8 >	4.3 <	5.4 <	6.8	5.8 <	8.0	7.9 >	6.4	5.6

— 婚前交渉について —

第29問 結婚していない若い人たちの男女関係について、どのようにお考えですか。リストの中から、あなたのお考えにいちばん近いものを選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 結婚式がすむまでは、性的まじわりをすべきでない	不可	58.2	> 50.3	> 46.5	> 38.7	> 32.3	> 25.6	24.2	22.6	20.7	> 16.6
2. 結婚の約束をした間柄なら、性的まじわりがあってもよい	婚約で可	15.2	< 19.5	21.2	22.6	22.8	22.5	22.7	22.7	23.3	23.0
3. 深く愛し合っている男女なら、性的まじわりがあってもよい	愛情で可	19.0	< 23.1	< 25.2	< 30.9	< 35.1	< 42.8	43.7	44.2	46.2	46.6
4. 性的まじわりをもつのに、結婚とか愛とかは関係ない	無条件で可	3.3	3.8	4.0	3.6	< 5.1	4.8	4.6	4.4	4.6	< 7.2
5. その他		0.1	> 0.0	0.0	< 0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.3	> 0.0
6. わからない、無回答	DK, NA	4.3	> 3.2	3.1	< 4.1	4.6	4.2	4.6	5.6	5.0	< 6.7

— 権威・平等（年上） —

第30問 リストには、ことばづかいについて甲、乙2つの意見がのせてあります。あなたはどちらがよいと思いますか。

- 甲：年上の人に対しては、敬語やていねいなことばを使うのが当然だ
乙：年上の人にも年下の人にも、同じようなことばを使ったほうがよい

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 甲がよい	権威	84.2	< 86.8	< 88.8	87.9	> 86.3	86.9	87.2	87.9	87.9	> 85.4
2. 乙がよい	平等	13.7	> 11.7	> 10.0	9.8	< 11.2	11.3	10.0	9.3	10.7	12.3
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	2.1	> 1.5	1.2	< 2.3	2.5	> 1.8	< 2.8	2.8	> 1.4	< 2.4

— 人間関係（近隣） —

第31問 リストには、隣近所の人とのつきあいのしかたがのせてあります。あなたはどれが望ましいとお考えですか。実際にどのようなしているかは別にして、ご希望に近いものをお答えください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 会ったときに、あいさつする程度のつきあい	形式的つきあい	15.1	15.1	< 19.6	19.2	19.8	< 23.2	25.2	25.6	27.6	< 32.8
2. あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい	部分的つきあい	49.8	< 52.5	> 47.5	< 53.4	54.2	53.3	54.0	53.7	53.8	> 48.1
3. なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい	全面的つきあい	34.5	> 31.9	32.4	> 26.8	24.9	> 22.8	> 19.6	19.4	18.1	18.6
4. その他		0.0	0.0	0.0	0.0	< 0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
5. わからない、無回答	DK, NA	0.5	0.5	0.4	0.6	< 1.1	> 0.6	< 1.1	1.3	> 0.4	0.4

— 能率・情緒（会合） —

第32問 かりに、この地域に起きた問題を話し合うために、隣近所の人々が10人程度集まったとします。その場合、会合の進め方としては、リストにある甲、乙どちらがよいと思いますか。

- 甲：世間話などをまじえながら、時間がかかってもなごやかに話をすすめる
乙：むだな話を抜きにして、てきぱきと手ぎわよくみんなの意見をまとめる

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 甲がよい	情緒	44.5	46.6	< 49.6	51.4	50.9	51.2	52.6	54.4	54.8	> 50.9
2. 乙がよい	能率	51.7	50.0	48.0	> 45.1	44.6	45.9	> 43.5	42.1	42.5	< 45.2
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	3.8	3.4	> 2.5	< 3.5	< 4.5	> 2.9	< 3.9	3.5	2.7	< 3.9

－結社・闘争性（地域）－

第33問 かりにこの地域に、住民の生活を脅かす公害問題が発生したとします。その場合、あなたはどうかしますか。リストの中から、あなたのお考えに最も近いものをあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. あまり波風を立てずに解決される ことが望ましいから、しばらく 事態を見守る	静観	23.2 <	31.1	32.6	32.9	33.1	31.5 >	28.5 <	31.1 <	36.7	37.5 <
2. この地域の有力者、議員や役所 に頼んで、解決をはかってもらう	依頼	36.3	37.0	38.1	38.5 >	35.3	36.1 <	42.2	43.5	44.5	46.2 <
3. みんなで住民運動を起こし、 問題を解決するために活動する	活動	35.8 >	28.2	26.4	24.8	26.5 <	29.1 >	25.5 >	21.8 >	15.9 >	13.2 >
4. その他		0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1
5. わからない、無回答	DK, NA	4.7 >	3.7 >	2.7 <	3.5 <	4.7 >	3.1	3.7	3.4	2.6	2.9 >

－ナショナリズム－

第34問 次に、日本とか日本人とかについて、あなたがお感じになっていることをいくつかおたずねします。リストのAからFまでの、1つ1つについて「そう思う」か「そうは思わない」かをお答えください。

A. 日本に生まれてよかった

1. そう思う	90.5 <	92.6 <	95.6	95.0 <	96.5 >	95.3	95.3	95.5 <	97.3	97.0 <
2. そうは思わない	4.6	4.0 >	2.3	2.8 >	1.6 <	2.7	2.1	2.3 >	1.4	1.7 >
3. わからない、無回答	4.8 >	3.4 >	2.1	2.3	1.9	2.0	2.6	2.2 >	1.3	1.3 >

B. 日本は一流国だ

1. そう思う	41.0 <	46.9 <	56.8 >	50.2	49.2 >	37.5	35.8 <	39.3 <	54.4	51.9 <
2. そうは思わない	49.8 >	43.1 >	35.7 <	41.8	43.0 <	54.4	55.9 >	52.8 >	38.4	40.0 >
3. わからない、無回答	9.1	10.0 >	7.6	8.0	7.8	8.1	8.3	8.0	7.2	8.1

C. 日本の古い寺や民家を見ると、非常に親しみを感じる

1. そう思う	87.5	88.4 >	86.7 >	83.8	83.1	83.5 <	85.4	86.9	87.4	85.9
2. そうは思わない	9.3	8.7 <	10.5 <	12.8	13.2	13.6 >	11.2	10.0	10.4	11.6 <
3. わからない、無回答	3.2	2.9	2.8	3.4	3.7	3.0	3.4	3.2 >	2.2	2.4

D. 日本人は、他の国民に比べて、きわめてすぐれた素質をもっている

1. そう思う	60.3 <	64.8 <	70.6 >	61.5 >	57.1 >	51.0	51.2 <	56.7 <	67.5 >	64.8 <
2. そうは思わない	26.5 >	22.3 >	20.2 <	28.6 <	33.2 <	39.0	39.1 >	34.0 >	24.6	26.8
3. わからない、無回答	13.2	12.9 >	9.2	9.9	9.7	10.0	9.8	9.3 >	7.9	8.4 >

E. 自分なりに日本のために役にたちたい

1. そう思う	72.6 >	69.0 <	71.8 >	65.7 <	69.0 >	66.0	66.1 <	69.6 <	73.6 >	70.3 >
2. そうは思わない	17.8 <	19.6	20.0 <	23.5	22.0 <	25.6	24.3 >	20.8	18.9 <	22.9 <
3. わからない、無回答	9.6 <	11.4 >	8.2 <	10.9 >	9.0	8.4	9.6	9.6 >	7.5	6.8 >

F. 今でも日本は、外国から見習うべきことが多い

1. そう思う	70.0	70.2	70.6 <	76.1	76.4 <	80.2 >	77.4 >	74.5	74.1	74.7 <
2. そうは思わない	19.4	17.8 <	20.0 >	15.1	14.6 >	12.7 <	14.8 <	16.6	17.8	18.3
3. わからない、無回答	10.5 <	12.0 >	9.4	8.8	9.0 >	7.1	7.8	8.9	8.1	7.1 >

—天皇に対する感情—

第35問 あなたは天皇に対して、現在、どのような感じをもっていますか。リストの中から選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 尊敬の念をもっている	尊敬	33.3 >	30.2	29.3	27.5 >	20.5	19.2	20.2 <	24.7 <	34.2 <	41.0 <
2. 好感をもっている	好感	20.3	21.9	20.9	22.1 <	42.7 >	34.5 <	41.0 >	33.5	35.3	35.8 <
3. 特に何とも感じていない	無感情	42.7	44.1 <	46.4	46.5 >	33.7 <	44.2 >	36.3	38.6 >	28.4 >	22.2 >
4. 反感をもっている	反感	2.2	2.4	2.2	2.1 >	1.5	1.1	0.8	1.0 >	0.5	0.2 >
5. その他		0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0
6. わからない、無回答	DK, NA	1.3	1.3	1.1 <	1.7	1.6 >	0.9 <	1.6	2.1	1.5 >	0.8

—権利についての知識— (MA)

第36問 リストには、いろいろなことがらが並んでいますが、この中で、憲法によって、義務ではなく、国民の権利と定められているのはどれだと思いますか。いくつでもあげてください。

ア. 思っていることを世間に発表する	49.4 >	45.8	44.0	43.4 >	39.0	37.2	36.2	34.8	36.4 >	29.8 >
イ. 税金を納める	33.9	35.5 <	39.8 >	37.2 <	39.5 <	42.0	42.2	42.8 <	46.8 >	43.8 <
ウ. 目上の人に従う	5.6	5.7 <	8.3	7.7	6.7	7.0	6.6	7.1	8.0 >	6.0
エ. 道路の右側を歩く	19.9	19.3	18.8 >	16.5	15.3	15.5	14.6	14.9	14.8 >	12.2 >
オ. 人間らしい暮らしをする	69.6	69.6 <	77.2	76.3	75.2	75.5	75.5	77.1	77.9 >	74.2 <
カ. 労働組合をつくる	39.4 >	36.0 >	28.9	27.1	25.5 >	23.0 >	20.4	21.8	21.7 >	17.5 >
キ. わからない、無回答	7.8	7.0 >	4.3 <	6.0	5.7 >	4.3	5.0	5.4 >	3.9	4.8 >

—政治的有効性感覚(選挙)—

第37問 国会議員選挙のときに、私たち一般国民が投票することは、国の政治にどの程度の影響を及ぼしていると思いますか。リストの中から選んでください。

	(略称)										
1. 非常に大きな影響を及ぼしている	強い	40.0 >	34.9 >	27.7 >	23.2	23.9 >	19.4	18.1 <	21.1	20.5 >	16.2 >
2. かなり影響を及ぼしている	やや強い	25.7	26.1	25.5	26.8	26.0 >	21.3	22.7 <	26.6	27.9 >	25.4
3. 少しは影響を及ぼしている	やや弱い	23.2 <	27.5 <	35.3	37.2	36.8 <	41.2	41.6 >	37.6	39.7 <	43.8 <
4. まったく影響を及ぼしていない	弱い	4.8 <	6.2	7.2	8.2	8.8 <	14.1	13.1 >	11.2 >	9.4 <	11.7 <
5. わからない、無回答	DK, NA	6.3	5.4 >	4.3	4.6	4.5	3.9	4.5 >	3.4 >	2.5	2.8 >

—政治的有効性感覚(デモなど)—

第38問 では、私たち一般国民のデモや陳情、請願は、国の政治にどの程度の影響を及ぼしていると思いますか。リストの中から選んでください。

	(略称)										
1. 非常に大きな影響を及ぼしている	強い	14.4 >	12.8 >	7.8 >	6.6	6.7 >	4.9	5.3 <	6.6 >	5.1 >	3.9 >
2. かなり影響を及ぼしている	やや強い	32.5 >	30.0 >	24.3	23.9 >	21.7 >	17.3	17.6 <	20.7 >	18.4	17.5 >
3. 少しは影響を及ぼしている	やや弱い	40.0 <	44.0 <	53.6	53.5	54.2 <	57.0 <	59.5 >	54.6 <	58.6	57.0 <
4. まったく影響を及ぼしていない	弱い	5.9 <	7.0 <	8.9	9.7	10.8 <	15.4 >	12.5	13.0	13.5 <	17.1 <
5. わからない、無回答	DK, NA	7.2	6.2	5.5	6.4	6.6 >	5.4	5.1	5.1	4.4	4.4 >

—政治的有効性感覚(世論)—

第39問 私たち一般国民の意見や希望は、国の政治にどの程度反映していると思いますか。リストの中からお答えください。

	(略称)										
1. 十分反映している	強い	3.6	3.6	3.1	2.9	2.9 >	1.8	1.6	1.9	1.9	1.9 >
2. かなり反映している	やや強い	17.5	17.7 >	15.8 >	13.7	13.1 >	8.8	8.4	8.8 <	10.5	9.8 >
3. 少しは反映している	やや弱い	52.4 <	56.3 <	58.7	59.8	59.4 >	52.7 <	57.1	57.5 <	62.4	60.1 <
4. まったく反映していない	弱い	19.2 >	15.7 <	17.5	18.4	18.9 <	32.9 >	28.7	28.1 >	22.0 <	25.0 <
5. わからない、無回答	DK, NA	7.3	6.7 >	4.8	5.3	5.7 >	3.9	4.2	3.7	3.4	3.2 >

—政治課題—

第40問 今、日本の政治が、取り組まなければならないいちばん重要なことからは、何でしょうか。リストの中から、1つだけ選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 国内の治安や秩序を維持する	秩序の維持	12.6 <	17.3	18.5 >	13.1 >	11.6	11.0 <	17.1 <	21.4 >	17.0 <	20.4 <
2. 日本の経済を発展させる	経済の発展	10.7 <	21.1 >	18.8 >	11.5 <	21.4 <	48.0	48.1 >	24.7 <	37.3 >	23.8 <
3. 国民の福祉を向上させる	福祉の向上	48.5 >	31.9 >	27.3 <	37.2	36.7 >	18.4 >	13.7 <	28.1 >	20.4 <	26.3 >
4. 国民の権利を守る	権利の擁護	11.5 >	8.9 <	11.3 <	13.0 >	9.0 >	7.3	7.7 <	12.2	10.9 <	16.4 <
5. 学問や文化の向上をはかる	文化の向上	1.4 <	2.0 >	1.4	1.9 >	1.1	1.2 <	2.0	2.5	2.7	2.4 <
6. 国民が政治に参加する機会をふやす	参加の増大	6.0	6.9 <	9.8	9.0 <	10.9 >	9.2 >	5.9	5.9 >	4.6	5.0
7. 外国との友好を深める	友好の促進	2.7 <	5.3 <	8.3	9.2 >	4.7 >	1.5	1.4	1.3 <	3.6 >	2.1
8. その他		0.4	0.2 <	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.7	0.5
9. わからない、無回答	DK, NA	6.1	6.5 >	4.2	4.8	4.1 >	2.9	3.6	3.4	2.8	3.2 >

—結社・闘争性(政治)—

第41問 リストには、一般国民の政治活動のあり方がのせてあります。あなたはどれがいちばん望ましいと思いますか。

	(略称)										
1. 選挙を通じてすぐれた政治家を選び、自分たちの代表として活躍してもらう	静観	62.6	61.0	60.5	60.4	61.1	59.6	59.7	59.1	59.7	59.7 >
2. 問題が起きたときは、支持する政治家に働きかけて、自分たちの意見を政治に反映させる	依頼	11.5 <	14.6	14.6 <	16.9	15.5 <	18.0	18.5	19.9	20.6	20.0 <
3. ふだんから、支持する政党や団体をもりたてて活動を続け、自分たちの意向の実現をはかる	活動	17.0	16.6	18.0 >	15.4	14.9	14.7 >	12.7	12.6	12.3	12.6 >
4. その他		0.1	0.1	0.1	0.1 <	0.4	0.3	0.5	0.3	0.5	0.5 <
5. わからない、無回答	DK, NA	8.8 >	7.6	6.7	7.2	8.2	7.3 <	8.6	8.1	6.9	7.2 >

—支持政党—

第42問 あなたは、ふだん、どの政党を支持していますか。(リストなし)

1. 自民党	34.3 <	38.2 <	40.6	38.7 >	28.4 >	24.0	25.0	26.0 <	33.6 >	26.9 >
2. 立憲民主党	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8
3. 国民民主党	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5
4. 公明党	3.5 <	4.4	4.2	3.7 >	2.9	2.3 <	3.7	3.5	3.0	2.2 >
5. 共産党	4.2 >	2.1	2.6	2.2	1.9 <	3.4 >	1.3 <	2.1	2.0	1.5 >
6. 日本維新の会	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0 >	0.4 >
7. 自由党	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1
8. 希望の党	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3
9. 社民党(社会党)	19.8 >	14.1 >	12.5 >	10.9 >	8.3 >	3.5 >	1.8	1.4	1.0 >	0.5 >
10. その他の政治団体	3.1 <	4.6 <	5.6 >	2.8 <	13.5 >	11.0 >	7.7 <	15.9 >	6.8 >	0.3 >
11. 特に支持している政党はない	31.6 <	33.8	32.2 <	37.8 <	40.7 <	52.3 <	56.9 >	45.5	47.0 <	59.6 <
12. わからない、無回答	3.5	2.9	2.5 <	3.8	4.4 >	3.4	3.7 <	5.5	5.6 >	3.9

社民党については、'73年～'93年は社会党の結果、

(2018年調査時での議席数の多い順に表示)

公明党については、'98年は公明の結果

－支持できそうな政党（支持政党なしの人）－

第43問 [第42問で「11」の人に]

いってえば、どの政党を支持できそうですか。(リストなし)

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 自民党	7.2 <	9.1	9.4 <	12.0 >	5.7 <	7.0 <	11.4 >	9.3 <	11.8 <	14.3 <
2. 立憲民主党	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4
3. 国民民主党	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5
4. 公明党	0.4	0.6	0.8 >	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.6	0.7
5. 共産党	2.3 >	0.9	0.9	1.0	0.7 <	2.4 >	1.3	0.9	1.1	0.8 >
6. 日本維新の会	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	0.8
7. 自由党	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1
8. 希望の党	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3
9. 社民党（社会党）	6.0 >	5.0 >	3.7 <	5.0 >	2.3	1.9 >	1.1	0.9 >	0.4	0.2 >
10. その他の政治団体	1.4 <	3.8	3.8 >	1.8 <	10.4	9.5 >	5.8 <	9.2 >	4.4 >	0.4 >
11. 支持できそうな政党もない	9.8	10.4	9.9 <	12.7 <	16.4 <	26.4 <	31.8 >	18.6 <	20.8 <	31.3 <
12. わからない、無回答	4.5	3.9	3.7 <	4.9	4.7	4.7	5.1 <	6.3	6.8	6.9 <
13. 非該当	68.4 >	66.2	67.8 >	62.2 >	59.3 >	47.7 >	43.1 <	54.5	53.0 >	40.4 >

－政治活動－（MA）

第44問 あなたは、この1年ぐらゐの間に、政治の問題について、リストにあるようなことをおこなったことがありますか。もしあれば、いくつでもあげてください。

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
ア. デモに参加した	デモ	4.0	3.5 >	2.4	1.8 >	0.7	0.9
イ. 署名運動に協力した	署名	24.4	25.1 <	29.6 <	32.0 >	21.2 <	24.5 >
ウ. マスコミに投書した	投書	0.8	0.7	0.7	0.6	0.4	0.6
エ. 陳情や抗議、請願した	陳情	4.5	4.4	4.4	3.8 >	2.4	2.1
オ. 献金・カンパした	献金	14.2	13.4	14.5 >	12.8 >	9.0	9.3 >
カ. 集会や会合に出席した	集会出席	12.6	12.2 <	17.2 >	13.7 >	12.1 >	9.5 <
キ. 政党・団体の新聞や雑誌を買って読んだ	機関紙購読	11.0 >	8.8	9.9 >	7.6 >	6.0	5.5
ク. 政党・団体の一員として活動した	党員活動	3.1	2.6 <	4.4 >	2.9	2.5	1.9
ケ. 特に何もしなかった	なし	60.1	60.6 >	55.5	54.9 <	63.7	64.6
コ. その他		0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
サ. 無回答	NA	2.1	2.3 >	1.2 <	2.3	2.9 >	1.9

－好きな外国－

第45問 あなたがいちばん好きな外国はどこですか。1つだけおっしゃってください。(リストなし)

	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. アメリカ	22.9	24.2	22.5 >	17.7 <	22.1	20.2 >
2. スイス	10.5	10.3	9.7	8.6	8.5 >	6.9 >
3. オーストラリア	15.2 >	10.6	9.8	8.6 >	6.5	5.4 >
4. イギリス	4.4	4.9	4.8	5.1	5.1	4.4
5. フランス	5.0	4.6	4.6	5.0	5.7 >	4.3
6. カナダ	4.4	5.2 >	3.8	3.5	4.0	3.2 >
7. イタリア	1.2 <	3.6	4.5	5.1	5.0 >	3.2 <
8. ドイツ	2.0	2.3	2.9	3.2	3.6	2.8 <
9. 韓国	#	#	1.0 <	1.9	2.4	2.2 <
10. スウェーデン	#	#	0.5 <	1.4	1.2 <	2.1 <
11. 台湾	#	#	0.2 <	0.5	0.6 <	1.6 <
12. ニュージーランド	1.9	2.1	2.6	3.0 >	2.0	1.5
13. その他の国	9.1	10.1 >	8.2	8.6	7.8	8.2
14. ない	20.3	20.0 <	22.3	23.7	22.0 <	31.9 <
15. 無回答	3.1 >	2.0	2.6 <	4.3	3.5 >	2.1 >

#：93年、98年は「その他の国」に含む

(2018年の結果で多い順に表示)

—好きな外国の理由—

第46問 [第45問で「1～13」の人に]

その理由は、何でしょうか。リストの中から、いちばん近いものを選んでください。

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 行ってみたい、住んでみてよかったから	居住	4.6 <	6.5 <	8.0	7.7 <	9.6	8.5 <
2. その国の人と接してきて、印象がよかったから	国民経験	2.9 <	3.8	3.8	3.4	4.0	4.4 <
3. 自由で、平和な国だから	平和	7.6	6.7	6.7	6.2	5.6	6.5
4. 経済的に豊かで、進んだ国だから	先進国	2.8 <	3.8	3.6	3.7	4.3	4.7 <
5. 広くて、のびのびしているから	ゆとり	11.3 >	9.5 >	7.0 >	5.3	5.0	4.3 >
6. 国民の人柄がよさそうだから	国民印象	4.0	3.7	3.2	3.0	3.8	3.3
7. 美しい自然や恵まれた環境があるから	自然環境	23.0	22.6	21.7	20.2 >	16.9	15.4 >
8. 歴史があり、すぐれた文化や芸術があるから	芸術・文化	8.1	8.9	8.7 <	10.6	10.4 >	7.9
9. 日本との関係が深いから	日本との関係	7.1 >	5.5	5.4 >	3.9 <	6.2 >	4.8 >
10. 言葉がわかるから	言葉	0.4	0.3	0.3	0.3	0.6	0.4
11. その他		2.1 <	3.5	3.2	3.9	4.8 >	2.9 <
12. 特に理由はないがなんとなく	理由なし	2.6	2.5	2.9	2.7	2.4	2.2
13. わからない、無回答	DK, NA	0.2 <	0.6	0.6 <	1.1	1.0	0.7 <
14. 非該当 [第45問で「14, 15」の人]		23.3	22.0 <	24.9 <	28.0 >	25.5 <	34.0 <

—外国人との接触経験— (MA)

第47問 ところで、あなたは外国人と、リストにあるようなつきあいを、日本国内でしたことがありますか。あればいくつでも選んでください。

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
ア. 近くに住んでいる外国人とあいさつをかわしたことがある	あいさつ	12.1 <	16.0	17.4	18.3	18.9	17.2 <
イ. 一緒に働いたことがある	職場	11.7 <	14.2 <	16.1 <	18.1	19.4	20.9 <
ウ. 学校で一緒に勉強したことがある	学校	10.0 <	12.4	13.4	14.4	13.9	12.9 <
エ. サークルや地域で一緒に活動したことがある	活動	5.3 <	6.8	7.8	7.6	7.8	6.9 <
オ. 食事に招待したり、されたりしたことがある	食事	9.3 <	13.0	13.7	14.8	13.6	11.9 <
カ. 自分の家に泊めたり、泊まりにいったことがある	宿泊	4.2 <	6.0	6.6	7.3	6.6	6.5 <
キ. 自分または家族や親せきが外国人と結婚している	結婚	3.5 <	4.7	5.1	5.8	6.9 >	5.5 <
ク. つきあったことはない	ない	61.3 >	54.1 >	51.0 >	47.6	48.6	50.8 >
ケ. その他		0.9	0.8	0.9	0.7	0.9	0.8
コ. 無回答	NA	1.6 >	1.0 <	1.6	1.9	1.4 >	0.5 >

—外国との交流—

第48問 外国や外国人について、あなたはどのようにお感じになりますか。リストのAからCまでの、1つ1つについて「そう思う」か「そうは思わない」かをお答えください。

A. いろいろな国の人と友達になりたい

	'03年	'08年	'13年	'18年
1. そう思う	65.4 >	62.6	62.9 >	58.2 >
2. そうは思わない	29.1	31.1	32.3 <	38.0 <
3. わからない、無回答	5.5	6.3 >	4.8	3.8 >

B. 貧しい国の人たちへの支援活動に協力したい

	'03年	'08年	'13年	'18年
1. そう思う	75.6	76.9	75.4 >	68.1 >
2. そうは思わない	16.8	16.0 <	19.0 <	26.9 <
3. わからない、無回答	7.6	7.1 >	5.6	5.1 >

C. 機会があれば、海外で仕事や勉強をしてみたい

	'03年	'08年	'13年	'18年
1. そう思う	43.0 >	39.6 >	37.1 >	33.0 >
2. そうは思わない	51.5 <	54.9 <	57.9 <	63.5 <
3. わからない、無回答	5.6	5.5	5.0 >	3.5 >

－結婚観（結婚すること）－

第49問 リストには、結婚についての考え方がのせてありますが、あなたのお考えは、甲と乙のどちらに近いでしょうか。

甲：人は結婚するのが当たり前だ

乙：必ずしも結婚する必要はない

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 甲に近い	するのが当然	44.6 >	38.0	35.9	35.0	33.2 >	26.9 >
2. 乙に近い	しなくてよい	50.5 <	57.9	59.4	59.6 <	62.6 <	67.5 <
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	4.9	4.1	4.8	5.4 >	4.2 <	5.6

－結婚観（子どもをもつこと）－

第50問 では、リストの甲と乙では、あなたのお考えはどちらに近いでしょうか。

甲：結婚しても、必ずしも子どもをもたなくてよい

乙：結婚したら、子どもをもつのが当たり前だ

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 甲に近い	もたなくてよい	40.2 <	47.3 <	49.8	48.4 <	55.2 <	60.4 <
2. 乙に近い	もつのが当然	53.5 >	47.8 >	43.9	44.8 >	38.9 >	32.8 >
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	6.2 >	5.0 <	6.3	6.8	5.9	6.8

－人間関係（友人）－

第51問 次に、友人とのつきあいについておたずねします。友人とはどんなつきあいをするのが望ましいと思いますか。リストの中から選んでください。

	(略称)	'08年	'13年	'18年
1. ときどき連絡を取り合う程度のつきあい	形式的つきあい	13.4 <	16.3 <	19.4 <
2. 気軽に話し合ったり遊んだりするようなつきあい	部分的つきあい	44.0	45.2	45.6
3. なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい	全面的つきあい	40.6 >	36.7 >	33.7 >
4. その他		0.1 <	0.4 >	0.1
5. わからない、無回答	DK, NA	1.9	1.4	1.2 >

－ライフステージ－

第52問 リストの中で、あなたにあてはまるのはどれでしょうか。

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. 結婚したことはない	20.2	20.6	19.9	20.4	20.3	19.4	18.9	20.0	18.2	17.7 >
2. [夫または妻がいる] 子どもはいない	5.9 >	4.5	5.2 >	4.2	4.7 <	5.9	5.3	5.4	5.5	5.1
3. [夫または妻がいる] いちばん年下の子どもが中学生以下	41.3	40.2 >	32.9 >	28.6 >	25.5 >	20.8	20.2 >	17.6	16.5	17.3 >
4. [夫または妻がいる] いちばん年下の子どもが中学生より大きい	25.2	26.1 <	32.6 <	38.5	40.0 <	43.8	43.6	44.3	45.8	46.0 <
5. [夫または妻と離別・死別した] 子どもはいない	0.7	0.8	0.8	0.9	1.0	1.1 <	1.7	1.4	1.2	1.5 <
6. [夫または妻と離別・死別した] いちばん年下の子どもが中学生以下	0.9	1.0	1.0 >	0.6	0.8	0.9	1.0	0.9	0.8	0.9
7. [夫または妻と離別・死別した] いちばん年下の子どもが中学生より大きい	5.2	5.9	6.1	5.5	5.6 <	6.8	6.9 <	8.6 <	10.4	10.9 <
8. 無回答	0.6	0.9 <	1.6	1.4 <	2.0 >	1.3 <	2.4	1.9	1.5 >	0.6

—学歴—

第53問 あなたが最後に卒業された学校を、リストの中からあげてください。
(在学中の方は、現在通っている学校をお答えください。)

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年	'18年
1. [卒業] 中学校 (旧制小学校, 高等小学校)	45.1 >	37.6 >	32.8 >	27.8 >	22.6 >	20.6 >	18.1	17.6 >	13.9	12.9 >
2. [卒業] 高等学校 (旧制中学校, 女学校)	35.0 <	39.5	38.8 <	41.2	42.1	40.8	40.1	38.8	39.2	37.4 <
3. [卒業] 高等専門学校・短期大学 (旧制高等学校)	6.6	6.7 <	9.6 <	12.2 <	14.0 <	15.9	17.5	18.5 <	20.8	21.4 <
4. [卒業] 大学・大学院	5.6 <	7.1 <	9.4	10.2 <	11.8 <	14.7	16.1	17.7 <	19.7 <	22.8 <
5. [在学中] 高等学校, 高等専門学校 (1~3年生)	5.1 <	6.4	6.2	5.5	5.5 >	4.3	4.5 >	3.5	3.4	3.2 >
6. [在学中] 高等専門学校 (4, 5年生), 短期大学, 大学・大学院	1.9	2.0	2.4	1.9	2.1	2.3	1.7	1.8	1.6	1.1 >
7. その他, 無回答	0.6	0.6	0.8	1.2 <	1.8	1.4	1.9	2.1	1.5	1.1 <

—本人職業—

第54問

1. 農林漁業者	7.9 >	6.1	5.5	5.9 >	3.9	4.1 >	3.0 >	2.0	1.6	2.3 >
2. 自営業者	11.9 <	13.6	12.8	12.2	11.0 >	9.4	9.8	9.8 >	7.8	8.1 >
3. 販売職・サービス職	4.3	4.8 <	5.8	6.3 >	5.1 <	6.2	7.0 <	8.7	7.6 <	9.1 <
4. 技能職・熟練職	14.8 >	12.4 >	10.7	11.1	10.3	9.4	9.1 >	7.1	5.9 <	8.4 >
5. 一般作業職	3.6	4.0	4.2	3.9 <	5.2	4.3	3.7 <	5.2 <	8.3 >	6.1 <
6. 事務職・技術職	13.2	13.8	15.0	15.1 <	20.0 <	22.4 >	18.4	17.0	17.5	18.9 <
7. 経営者・管理者	3.8 <	4.7 >	3.8	3.9	4.2	3.4	4.2	4.4	4.4	4.7
8. 専門職, 自由業, その他の職業	0.8	1.0	1.3	1.3 >	0.8	1.1	1.1 <	2.2 >	1.1	1.3 <
9. 主婦	23.6	22.5 >	20.3	20.3	18.6	18.7	19.6	18.9	18.1	16.5 >
10. 生徒・学生	6.7 <	8.3	8.2	7.1	7.4	6.3	5.9	5.1	4.7	4.1 >
11. 無職	9.1 >	7.7 <	9.7	10.0	10.9 <	13.3 <	15.5 <	17.6 <	21.4	19.6 <
12. その他, 無回答	0.3 <	1.0 <	2.8	2.9	2.5 >	1.4 <	2.6	2.1	1.6 >	0.8 <

—主婦の生計維持者の職業—

第55問

1. 農林漁業者	2.6 >	1.6 >	1.0	0.7	1.0	0.6	0.5 >	0.2	0.2	0.1 >
2. 自営業者	4.0	3.4 >	1.9	2.3	1.9 >	1.3	1.4	1.5 >	0.6	0.7 >
3. 販売職・サービス職	0.9 <	1.6	1.4	1.6 >	0.9 >	0.5	0.8	1.0 >	0.3 <	0.9
4. 技能職・熟練職	5.3	4.7	4.2 >	3.2	2.5	1.9	1.9	1.6	1.5	1.2 >
5. 一般作業職	1.0	0.8	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7 <	1.2	0.7
6. 事務職・技術職	4.8	4.6	4.2	3.6 <	4.9 <	6.5 >	4.4 >	3.2	2.4	1.8 >
7. 経営者・管理者	2.4 <	3.1 >	2.0	2.0	1.7	1.2 <	1.9	1.6	1.8	1.2 >
8. 専門職, 自由業, その他の職業	0.4 <	0.8 >	0.4	0.6 >	0.2	0.4	0.6	0.5	0.3	0.3
(9. 主婦)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10. 生徒・学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11. 無職	0.3 <	1.0 <	2.5 <	3.7	3.6 <	5.1 <	6.3 <	7.7	8.9	9.2 <
12. その他, 無回答	1.7 >	0.9 <	1.6	1.9 >	1.3 >	0.5 <	1.1	0.9	1.0 >	0.5 >
13. 非該当 [第54問で「9」以外の人]	76.4	77.5 <	79.7	79.7	81.4	81.3	80.4	81.1	81.9	83.5 <

有効サンプル構成

回数		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
調査年		1973年	1978年	1983年	1988年	1993年	1998年	2003年	2008年	2013年	2018年
性	全体	4,243	4,240	4,064	3,853	3,814	3,622	3,319	3,103	3,070	2,751
	男性	1,953	1,910	1,836	1,755	1,727	1,659	1,519	1,393	1,346	1,244
	女性	2,290	2,330	2,228	2,098	2,087	1,963	1,800	1,710	1,724	1,507
年齢層	16-19歳	327	357	331	290	268	192	187	136	132	106
	20-24歳	414	323	266	282	307	243	147	133	102	84
	25-29歳	503	474	303	271	248	248	183	146	132	80
	30-34歳	503	543	472	330	295	254	242	216	137	155
	35-39歳	497	524	510	467	324	289	290	242	214	173
	40-44歳	494	426	431	386	408	289	260	228	239	188
	45-49歳	382	406	386	377	385	351	240	236	238	234
	50-54歳	271	348	336	321	343	343	336	241	241	204
	55-59歳	245	273	328	327	319	356	330	334	262	231
	60-64歳	216	204	235	290	340	326	312	297	323	240
	65-69歳	173	139	195	225	229	268	282	294	278	301
	70-74歳	126	115	142	151	163	228	242	251	312	263
	75歳以上	92	108	129	136	185	235	268	349	460	492
都市規模	特別区と100万以上の市	784	772	739	697	712	677	566	564	606	477
	30万以上の市	578	693	676	607	667	645	648	688	637	621
	10万以上の市	823	827	839	789	766	749	673	748	751	686
	5万以上の市町村	465	517	440	515	467	464	337	528	487	432
	5万未満の市町村	1,593	1,431	1,370	1,245	1,202	1,087	1,095	575	589	535
学歴	中学卒業	1,914	1,596	1,333	1,073	863	747	600	545	427	356
	高校卒業	1,486	1,675	1,577	1,586	1,606	1,478	1,332	1,205	1,202	1,029
	高専・短大卒業	282	286	390	471	535	577	581	573	638	590
	大学・大学院卒業	238	300	381	393	450	533	536	549	605	628
	高校在学	217	272	253	211	210	154	150	110	103	88
	短大・大学・大学院在学	81	85	98	72	82	84	56	56	50	31
	その他、無回答	25	26	32	47	68	49	64	65	45	29

回数		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
調査年		1973年	1978年	1983年	1988年	1993年	1998年	2003年	2008年	2013年	2018年
性	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男性	46.0	45.0	45.2	45.5	45.3	45.8	45.8	44.9	43.8	45.2
	女性	54.0	55.0	54.8	54.5	54.7	54.2	54.2	55.1	56.2	54.8
年齢層	16-19歳	7.7	8.4	8.1	7.5	7.0	5.3	5.6	4.4	4.3	3.9
	20-24歳	9.8	7.6	6.5	7.3	8.0	6.7	4.4	4.3	3.3	3.1
	25-29歳	11.9	11.2	7.5	7.0	6.5	6.8	5.5	4.7	4.3	2.9
	30-34歳	11.9	12.8	11.6	8.6	7.7	7.0	7.3	7.0	4.5	5.6
	35-39歳	11.7	12.4	12.5	12.1	8.5	8.0	8.7	7.8	7.0	6.3
	40-44歳	11.6	10.0	10.6	10.0	10.7	8.0	7.8	7.3	7.8	6.8
	45-49歳	9.0	9.6	9.5	9.8	10.1	9.7	7.2	7.6	7.8	8.5
	50-54歳	6.4	8.2	8.3	8.3	9.0	9.5	10.1	7.8	7.9	7.4
	55-59歳	5.8	6.4	8.1	8.5	8.4	9.8	9.9	10.8	8.5	8.4
	60-64歳	5.1	4.8	5.8	7.5	8.9	9.0	9.4	9.6	10.5	8.7
	65-69歳	4.1	3.3	4.8	5.8	6.0	7.4	8.5	9.5	9.1	10.9
	70-74歳	3.0	2.7	3.5	3.9	4.3	6.3	7.3	8.1	10.2	9.6
	75歳以上	2.2	2.5	3.2	3.5	4.9	6.5	8.1	11.2	15.0	17.9
都市規模	特別区と100万以上の市	18.5	18.2	18.2	18.1	18.7	18.7	17.1	18.2	19.7	17.3
	30万以上の市	13.6	16.3	16.6	15.8	17.5	17.8	19.5	22.2	20.7	22.6
	10万以上の市	19.4	19.5	20.6	20.5	20.1	20.7	20.3	24.1	24.5	24.9
	5万以上の市町村	11.0	12.2	10.8	13.4	12.2	12.8	10.2	17.0	15.9	15.7
	5万未満の市町村	37.5	33.8	33.7	32.3	31.5	30.0	33.0	18.5	19.2	19.4
学歴	中学卒業	45.1	37.6	32.8	27.8	22.6	20.6	18.1	17.6	13.9	12.9
	高校卒業	35.0	39.5	38.8	41.2	42.1	40.8	40.1	38.8	39.2	37.4
	高専・短大卒業	6.6	6.7	9.6	12.2	14.0	15.9	17.5	18.5	20.8	21.4
	大学・大学院卒業	5.6	7.1	9.4	10.2	11.8	14.7	16.1	17.7	19.7	22.8
	高校在学	5.1	6.4	6.2	5.5	5.5	4.3	4.5	3.5	3.4	3.2
	短大・大学・大学院在学	1.9	2.0	2.4	1.9	2.1	2.3	1.7	1.8	1.6	1.1
	その他、無回答	0.6	0.6	0.8	1.2	1.8	1.4	1.9	2.1	1.5	1.1

※学歴の「高校在学」には高専1～3年生、また「短大・大学・大学院在学」には高専4、5年生が含まれる